

南国暮らしの会

2006 年 夏 季 号



平成 18 年 7 月 29 日



NPO 法人 南国暮らしの会

目 次

	ページ
理事長就任挨拶.....	1
理事長退任のご挨拶.....	4
酒匂前理事長の功績を称え.....	5
総会報告.....	7
情報交換会報告.....	8
平成18年度事業計画書.....	11
平成18年度会計収支予算書.....	12
平成17年度事業報告書.....	13
平成17年度会計収支計算書.....	17
平成17年度貸借対照表.....	18
平成18年度国内支部長会報告.....	19
フィリピン ダバオ ホームステイの記.....	21
ダバオ視察会.....	24
バギオって???	27
チェンマイ生活雑感.....	34
はじめてのロングステイ.....	36
セブ在住1年生.....	38
チェンマイでのロングステイ体験記.....	41
平成17年、26日間の海外調査.....	45
セブ下見ツアー.....	47
お役立ち情報シリーズ.....	51
支部報告.....	56
友好団体紹介コーナー.....	59
部会伝言板.....	60
「べからず集」.....	61
編集後記.....	62

理事長就任挨拶

関東支部 No.163 宮崎 哲郎

ご挨拶

此の度、理事会の選任を経て、総会の信任により大変責任の重い理事長をお引き受けする事になり身の引き締まる思いです。会の創立以来こままでこの会を育てられその功績大なる池田元理事長、酒匂前理事長の跡を継ぐ事の大役と年齢を考えお引き受けするか否かなり悩みましたが会の現状を考え浅学の徒ながら2年の任期限りでのお約束でお引き受け致しました。



お引き受けした以上は先輩諸兄、そして「自分の夢」を託してご入会された新しい会員の方々の為に月並みな言い方ながら全力を傾注しこの日本一素晴らしい「南の会」を維持そして一層の発展に寄与したいと思っておりますので何卒皆様のご支援ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

就任にあたり会の現状、将来像についてご挨拶かたがた皆様に提案いたしますので何卒ご意見賜れば幸いです。

1. 会の現状

「南の会」は創立からNPOの認証までが第1期、その後会の組織、規則、諸活動の充実・国内外支部体制の確立・会員の大幅増加・その会員の受け入れ体制の強化と進み、今や他のLS関係団体に大きな差をつけた立派なHPの完成を以って第2期が終了したと思えます。

さてこれからが第3期に入るという認識を持っております。創立時以来ある期間まで少人数での「夢」を語る「仲よし情報交換会」の域を出なかったのですが、その後時流に乗って世間に知られる存在となり、予想もしなかった大人数の団体に成長したことはご承知の通りです。しかし会員数は増えていますがその人的構成は大幅に変化し、ベテラン会員・中間の会員・新規会員の3層構造の組織となりました。その比率

はベテラン(20%)<中間(30%)<新規(50%)という構造でないかと推察します。特に2007年問題と云われる団塊の世代の会員数、すでに当会の「団塊世代」は全会員の30%を占めております。

これにより色々な問題発生や、3層構造の各種問題をベースに会としての対応をして行かなければならないでしょう。即ち、当会の主な活動「情報交換」・「仲間作り」・「生きがい作り」もかなり各層で温度差があります。皆さんが満足行く様にするには大変難しい問題です。新規の方にはすべての情報が新鮮かも知れませんがベテラン・中間層には当たり前のことで余り興味を示さない事になります。もはや情報は一巡、出尽くしたと思う層に対し会として何をすべきかという3層構造認識を持って対処して行かなければなりません、そしてそれに関して後ほど申し述べます。

2. 現状諸問題とその対応

さて一応組織が出来上がりこれを推し進めれば良いのですが現在、将来の問題はたくさんあります。しかしこの会は「同好の士」が「楽しむ会」です、平たく言えば「遊びの会」です。あまり杓子定規様なことを言わず、大真面目にならず、肩を張らず、エンジョイしたいものです。それには如何に会員の方が楽しめるようにするか、今後の問題はこれを判断の基準にして対応していきたいと思えます。

それではこれから第3期の活動時期が始まってどのような問題があるか次の事を取り上げたいと思えます。

- (1) 内外支部の新設、充実。
- (2) 団塊世代への対応
- (3) 3層構造会員への対応

以上3つの問題について申し述べたいと思えます。

(1) 国内外支部の新設・充実

現在国内支部は7支部、海外(一時休止を含め)

9支部あります。国内支部は全国に散らばっている会員を地域ごとに束ね各地で纏めるためにできました。長い日本列島を大都市中心に設置しましたが、入会会員が相当バラつき始めたため現在の支部の場所ではサロンや例会に出るのが難しい方が多くなりました。特に山陰、山陽、四国、北陸、東北の一部、等ですが今後会員が増えれば増えるほどこのようなエリアの方々が多くなり「情報」の確保、「仲間作り」などに不均衡が発生し、それが基で「面白くない」と会への興味を失い退会することなどが予想されます。上記のような広範な地域を抱えた支部には、その中に小単位のブロックを設置していたとき、交流機会の増加を図っていく必要を感じています。

しかしこれら方法にも限度がありますので、これら地域の会員の方にはメール・スカイプは必須項目として活用して頂き自分の支部との交流を行っていくのが良いのかも知れません。パソコン（メール、スカイプ）の更なる普及を目指すことが必要となります。

更に既存支部の充実ですが、大都市圏においては会員数が増加していることもあり、予算の関係で適切な会場確保が困難となり、参加者の減少や、サロン会などの回数を減らさざるを得ないなど、本来の会活動に支障を来す状態になっています。この為には会場確保の補助金を多くする、あるいは支部役員会の交通費補助の増加によりお世話役が積極的な活動が出来るようにするなどのサポートが必要になって来るでしょう。

支部単位の活動を更に充実させるためには、情報だけでなく「和気藹々」の雰囲気作り、「仲間に会いたい」などの動機づけが大変大事だと思います。そのためにはやる気のあるリーダーのもと、会員が出来るだけ多く交わるチャンスを作ることだと思います。サロン会、パソコン教室、会話教室、趣味の会開催などの「集まり」の回数を増やす工夫が必要でしょう。

海外支部において各支部長さんはその運営並びに後継者探しに大変苦労しておられます。会としてはステイ先の調査・居住のパイロット役が絶対に必要と考え早い時期より人気地区には支部を設置してきましたが、そのおかげで会員的大幅増に貢献しました。しかしながら最近、事情により帰国されたり、辞退されるベテラン支部長さんが出て参りました（ダバオ・マニラ）。

少人数の支部については、その地に居られるボランティア精神のある方に連絡員になってもらい、本部からのサポートを密にして行く事、あるいはサービスを外部にお願いする等のことを検討する事がそろそろ必要な時期になって来たのではないかと考えております。

支部新設に就いてですが、今年下旬にはハワイ支部を立ち上げる予定ですのでご期待下さい。ハワイはご承知のように「南の国」の代表のようなリゾートですから誰でも一度は憧れる所です。会にとっても入会希望者にも価値ある支部となるでしょう。

（２）団塊世代への対応

すでに述べたように当会の団塊世代会員数は30%ほど居られます。世間的には700万人と言われるこの方々をターゲットにさまざまなビジネスが動き始めています。ロングステイ財団の調査によると、LSを求める人は150万人と信じられない数字でしたが、話半分としても相当な人がこれから数年にわたり我々のフィールドに参加してくる事になります。希望地順位はオーストラリア・マレーシア・ハワイ・カナダ・タイ等・・・ですが、いずれにしても当会の経験から大半が東南アジアに絞られてくる可能性があります。しかし年金取得、親、子供の扶養問題などの点から推察すれば、この世代は65歳からが本当に移動可能時期かも知れません。

今年はこの世代のフィナンシャル問題、考え方、行動などを調査することにしております。これによりいろんな方向性が示されるのではないかと期待しております。これからこの方々による大幅な会員増が予想されますので組織拡大、許容会員数検討等の対処が必要になるでしょう。

（３）3層構造の会員への対応

先にこの層の事を述べましたが1．ベテラン会員 2．中間会員 3．新規会員です。一般論ですが1．の方々は情報、実地、ステイ先経験などが豊富で、もはやそれほど情報など必要でなく、すでに現地で会員との親密な交流を楽しんでおられる方々です。このクラスで海外に居住していない方は渡り鳥的ステイをする方が多いようです。

2．の方々は会にも相当慣れ情報も貪欲に吸収しながらステイ先を探すために度々目的地を

訪問している層です。年齢的にもリタイア前後の方が多くようです。

3.の方々は新しい会員で、すべてが新鮮で希望に満ち情報を最も希望される方々です。会にもLSにも慣れていないので会やベテランの会員の方々ができるだけお世話をしあげることが大切です。初心者の消極さや、遠慮から十分な「LSの楽しみ」「会の素晴らしさ」を理解しないまま次第に興味を失って退会する可能性の高い方々です。一期一会を大事にする精神で、ベテラン会員に積極的にアプローチして欲しいと思います。

会運営は以上の「3層の会員」がおられ、各層に対応しなければならぬ事を念頭に置かなければならないと思います。全ての層の会員に共通している想いは「南の会」の活動に参加して充実した南国ステイを送りたい、これが全てです。我々の会は「楽しくあらねばならない」と思います。

「楽しむため」の条件作りするために皆さんに奉仕するのがお世話役の務めです。すべての会員が主体的な意思を持って、会の活動に参加し協力していただくことが「会員の務め」です。同じ会員同士、上下の関係でない「義務のシェア」をご理解していただいて初めてこの団体が一体化出来ることを全員が肝に銘じておかなければならないでしょう。

「あなたお世話する人」「私お世話される人」の意識をなくすことです。しかし残念ながら一部会員の中には身勝手な要求ばかりを主張して世話役を悩ませて居る方が存在するのも事実です。

3. 「南の会」とロングステイの将来及び社会貢献

ここ数年のうちに多くの「団塊の世代」の方々がLSを選択して我々の仲間になり、「南の会」の主要ステイ先に居住することが現実のものとなります。同じ夢を抱いて集まった者同士ですから理解し合えると思っても、大勢の日本人ステイヤーが一箇所に集中した時、偏狭な日本人の村意識が表出し始め、軋轢や摩擦が起きることが十分予想されます。すでに一部のステイ先では大量のロングステイヤーで溢れて不愉快な問題が起きてきております。そしてリタイ

ヤメントビザの見直しをする国も出てくる兆候があります。問題あると思えば各国は即座に容易にその方針を変えます。特に発展途上にある東南アジアの国々において顕著です。

その意味から当会としてLS適地の新規開拓、拡大が望まれるところではないでしょうか。そのために既に各国都市へ出かけて調査されている会員の方々が居られるのは頼もしい限りです。会の将来のため、その方々の情報を集めながら、新たな滞在先を見つける取り組みをしていく時期になってきていると思います。ただし常に心に留めておいて欲しいのは、日本との経済格差の恩恵にあずかって、ごく平均的な日本人が海外生活をエンジョイしているのだということ、現地の庶民感情や価値観に十分な配慮をしながら、謙虚に感謝の気持ちを持って現地社会との交流を図っていただきたいということです。5年～10年のスパンでロングステイを「南国で暮らす」が当会のコンセプトです。東南アジア諸国は急激な経済成長を続けています。将来的な見通しを持ちながら「今を楽しむ」「将来設計を愉しむ」姿勢が必要でしょう。東アジア諸国（韓国・中国・台湾等）シニアの国際移動も注目していかなければなりません。これからの重要な研究項目となるでしょう。

最後にお知らせですが、「南の会」はNPO法人に認証され順調に7年過ぎました。今や「ノブレス オブラージュ」（高貴な身分には義務が伴う）の発想が求められる時期に来ています。そうした観点で「社会貢献の一環」として、有料セミナーを東京で行うことを決めました。題して「南国で暮らす」、これは会員でなく広く一般の方々、世間に対し「こういう人生もありますよ」ということを発信する活動です。「南の会」の主催ですが会員を募る目的でありませんので、会の宣伝、広報は極力避けて実行するものです。

開催時期を11月とし予算も組み、関係者が集まり「GO-」のサインが出ましたので早速「プロジェクトチーム」を立ち上げメンバーも選任しスタートしました。これからどういう展開になるのかご期待頂きたいと思いますが、皆様のご支援やアドバイスが頂ければさらに心強いことと思いますのでよろしくお願い致します。これをもって理事長就任のご挨拶と致します。

理事長退任のご挨拶

関東支部 No.24 酒匂 景輝

ご挨拶 “皆様有り難う御座いました”

皆様如何お過ごしですか。私酒匂は、この度定款・細則第11条10項により（理事の任期は3期6年が限度）理事役及び理事長を通算6年余（南国暮らし夢の会からですと約8年、本会の運営に携わってきました。）この度退任する事になりました。在任中は多くの皆様方のご協力により、何とか任期を全うする事が出来ました。誠に有り難う御座いました。

今後、会発足の趣旨であります南国暮らしを実践する事が出来ます。これは素晴らしい前向きな方との出会いがあったからです。これからは一会員として会発展に微力ながら協力致す所存です。

・宮崎新理事長を宜しくお願い致します。

後任理事長には、温厚で人格者の宮崎様が理事会において推薦し、全員一致で選任されました。

この方の手腕は、副理事長役で私を裏表無く支援して下さい、関東支部長としてもその手腕を発揮されました。多くの会員がサロン、懇親会を指折り数えて待ち焦がれております。

今後は本会理事長役として会全体の発展に尽力して頂く事になります。それには会員皆様の絶大なるご協力が必要です。

会の発展を願って

1) 18年度通常総会について

この会は、老後を南国で心豊かに送りたいというロマンを持って集った夢多き人々によって組織されています。しかし、ここ数年の会員の急膨張に伴って、一部会員の間で人間関係の齟齬に起因したさまざまな軋轢が生じてきています。16年度末から尾を引いてきた、事実の立証が困難である「一役員の海外での不祥事のうわさ」を意図的に流布した問題から派生して生じたさまざまな課題のために、17年度理事会は膨大な時間と労力をかけて論議を重ねることを余

儀なくされました。理事会役員は「疑わしきは罰せず」という刑法の原則に則って、あくまで公平に中立的な立場でこのわずらわしい課題に対応してきました。

この忌まわしい問題を18年度へ持ち込んで、会の健全な発展に大きな障害になるという判断の元に、今年度の総会では広く会員の皆様の声を反映する目的で（東京都とも相談を重ね）、総会議案の表決権行使書を発行しました。それに則り会員の皆様に議決権の行使をして頂きました。当日出席者と行使書の合計が338名（うち権行使書委任状276名、《18年度5月20日現在会員数：621名》）となり、問題議案（第6号、第7号の除名議案）も理事会提案通り議決されました。本当に有り難う御座いました。会の趣旨を弁えた良識ある会員皆様のご協力に感謝しております。

2) 誹謗中傷について

本会は会員の誹謗中傷などの風聞を理事会に持ち込まれても、それを吟味し裁くことの出来る団体ではありません。（司法の裁断が下された事柄ならば当然措置出来ます。）

残念なことに、いまだに今回の理事会の対応に不満のある方がまだ少数おいでのようですが、その様な方は自分達で新たな理念に基づいて新しい会を立ち上げればよいと思っております。法人格を取得したければ10名以上の方が社員（会員）として登録されれば申請出来ます。

グループ旅行や集いでトラブルを何で理事会に持ち込まれるのか、グループ内で発生したトラブルはその中で処理して欲しいです。その場に居ない者が人の風聞だけで、裁断を下せるものではありません。

そのような裁きをする機関は、皆様ご存知のちゃんとした司法機関があります。自分達で処理出来なければ、司法の裁断に委ねるといいと思っております。

我々が育った日本国は八百万（やおよろず）の神の国です。善も悪も包含しているのです。

神も仏もいっしょくたです。すべての人間が理想と現実の間で、理性と本能の間で揺れ動きながら判断し行動しているのです。清濁併せ呑む度量と大らかな人間観をベースに、常に本来の趣旨に立ち返って会運営を心がけていくことが大切です。「南国暮らしの会」の基本方針は定款の目的の中にうたっており「暖かい南の国々で豊かな老後を楽しみ………会員相互の交流・親睦をはかりながら、併せて南の国々および現地の人々との親善と協力をを行う」です。このことを念頭において、南国での生活や会員との交流を大いにエンジョイして欲しいと思います。

3) 今後について

2007年問題が巷では大きな問題を投げかけております。本会も団塊世代の方々の魅力ある選択肢の一つである事は間違いありません。雨降って地固まるのたとえもあります。

今後とも、一部の会員にお任せでなくて、すべての会員が主体的な意識を持って会の諸活動に参加し、いっそう盛り上げていくことを期待してやみません。

皆様のご協力に感謝し、皆様のご健康とご多幸を祈念しております。

酒匂前理事長の功績を称え

関東支部 No.3 池田 徳三郎

18年の総会は事業報告、同計画、決算、予算、役員を選出、規約改正、初めての会員の除名など決議し新しい課題を残して閉幕しました。

他方、総会を契機に酒匂前理事長は理事4年余、理事長2年間の職を辞することになりました。惜しまれてなりません。酒匂氏は当会設立以来、会の大黒柱として会の発展のため誠に大きなご貢献をなされました。

1. 酒匂前理事長の功績

酒匂前理事長の任期満了に際し、永年の功績を改めて回顧し称えさせて頂きします。

NPOの申請以前の創設期から、酒匂ご夫妻は共に事務局を担当され、会の発展のためご奉仕とご苦勞の限りを尽くされました。愛子夫人の書かれた会報の表紙(富岳)を楽しみにしておりました頃を大変懐かしく追憶しています。

酒匂ご夫妻は会の発展のために、自ら長年体験なされたご苦勞と奉仕を通じ、当会にとって最も大切で欠かせない「会員の自発的奉仕」のご苦勞と大切さを真に熟知された人であり、気配りと思い遣りの厚い素晴らしいリ・ダ・でありました。

当会は「会員の自発的奉仕」と会員の会費に

より、今日まで支えられ、運営されてきました。今後とも大切なことは会員の1人1人の盛り上がる少しの自発的奉仕を会の目的に収斂することでしょう。それは会全体として大きなパワーとなります。

池田が理事長在任中は、幾つかの難問に遭遇した時、酒匂氏のお力添えで関係者と共にクリアすることが出来、かけがいのないよきパートナーでありました。しばしば多くの激論もありましたが、辛抱強く話し合いを続けることで解決してきました。

そして理事長に就任され、ご在任中に5周年記念事業、規約の整備、委員会の充実、グローバルネットワーク化時代のPC・メールの普及、PR活動、会員数の増加など多くの功績を残されました。

例えば、16年3月末474名の会員は18年3月末621名と2年間に147名(31%の増)と増加しておりますし、19年3月末は700名を超える会員を有すると予想しております。

他方会員数の増加に伴い、会員間のスムーズな交流も、時には躓きましたが、唯一残念なことは対話を続けながら、会員の除名等悲しい課題を残しました。

2. 望まれる組織作り

ある目的を遂行する団体は組織的に活動することが肝要ですが、当会は組織的支部活動の骨子も肉づけも概ね整備され、各支部と会全体が有機的に組織的に活動できるNPO法人としての仕組みが熟すのに約5年の歳月を要し、国内支部長会（16年5月）を開催することができました。

NPO法人は企業・行政と異なり縦割りの組織ではなく、「会員平等の横の連携組織であり、自主的奉仕協力のパワーに支えられた組織」との共通認識がそのころから会員間に定着してきました。

特に留意すべきは、ある意図をもって特定の力で方針・方向づけをしたり、命令したりして活動する企業・行政と基本的に異なる団体であります。当会ではある意図をもって特定の力で押さえつけたり、命令することは極力避け、また排除しなければなりません。その意味で話し合いの大切さが望まれます。（NPO法人において特定の力で押さえつけるとき、その反動は2倍3倍の跳ね返りが起き、拙い結果だけが残ることでしょう。）

そして会員の自主的奉仕協力を如何にしたら得られるか、得られなくなればNPO法人のパワーは衰退し、何も出来なくなります。

更に、それを得るために、その手段、方法は何か。何処に求められるのでしょうか。

その結論は多くの会員のご意見（批判を含め）を聞き、その意見を尊重することであり、多くの意見が出易くする雰囲気作り、多くの機会作りが大切であります。時には間違いを正す意見も出易くさせることでもあります。

「対話なきところに自主的奉仕活動は生まれ難い」のものであります。会員の尊厳（会員の自覚）を十分に認識しなければ、会の新しい発展は望めないでしょう。

会員の意見・アンケート等により、会の大方針を決め、会員の協力を得ながら、話し合いを続け、1つ1つ出来ることから積み上げてきました。結果として会報、PR活動、旅行会、サロンの創設、支部の設立・組織化・その活動、PC・メールの普及等「会員の自主的奉仕協力」により、旅行会を除きそれぞれが活発に立派に充実拡大していきました。

3. 望まれる役員の間人像（事実を尊ぶ人）

理事会内において、また理事会に対する大小の意見、批判に謙虚に傾聴し、対立する双方の意見を甘受し、話し合いを通じて多くの難問を乗り切ることでありました。

誹謗中傷という言葉がこの2年間に会の流行語となりましたが、意見、警告、批判等と誹謗中傷の区別は非常に大切なことです。

そのためには、意見を意見として聞くバランス感覚のあるリーダー（各組織における長を含め）が望まれ、良心に恥じない品格を備えたリーダーが欠かせません。

良心に恥じる行為とは社会通念に反することは勿論、事実を曲げたり隠蔽したり、事実でないことを事実であるかのごとく捏造したり、事実を公平に見ない、公平に判断できない行為であります。NPO法人の各組織の責任者は常に真実を語る人こそが相応しい人であります。

幸い当会はこのような事実を尊ぶ多くのリーダーで支部・会を運営されておりますことは喜ばしい限りであります。

万一、良心に恥じる行為をしてなお憚然と恥じることを知らない人が居るとすれば、自主的にNPO法人から去るべきでしょう。

4. 相互信頼と社会貢献の会を目指して

当会は信頼される人間関係（会員尊重）の絆で構成されている会で、無作為にでも会員相互の信頼を損なう行為をしないことであり、自らの行為を尊重し、責任を持ち、事実を曲げ責任回避をしないことです。（特に海外ステーションにおいて「海外会員への心使い」の遵守、海外地元住民に対する配慮と信頼を得られる行為等）

さらに当会は「自らの利益のみを求める人」の集まりではありませんので去るべきです。自己の利益追求を捨てて、内外の地域・社会に貢献する覚悟をもつ会員によって構成された組織的法人です。「NPO法人は不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的」としてあります。

酒匂前理事長の永年の功績に感謝し、併せ当会が会員を尊重し、対話と事実を尊び、会員相互の信頼の絆を深め、自己の利益を破棄し、社会に貢献できる会に益々なりますことを切望して止みません。

特定非営利活動法人 南国暮らしの会 平成 18 年度通常総会議事録

日 時 : 平成 18 年 5 月 28 日 (日) 10 時 00 分～11 時 45 分

場 所 : 東京都大崎労政事務所・南部労政会館

出席者 : 338 名 (うち委任状 276 名)

司会の宮寄副理事長は、最新の会員総数 621 名であることから本日の通常総会が成立することを説明し、本法定款第 25 条の規定により議長の選出について踏った。司会者は議長として橋本慧理事を推薦した。理事は公正中立とは言い難いとの意見が出されたが、議決権は行使しないとして、そのまま橋本慧氏が選ばれて議長となり、開会を宣言し、議案の審議に入った。

議 案

第一号議案 平成 17 年度事業報告・決算報告・監査報告について

菊地理事が事業報告書にもとづき詳細な事業報告をおこない、次いで大野理事が同年度の収支計算書にもとづき詳細な決算報告をおこなった。続いて齊藤監事から、当会は同定款等にもとづき適切に運営され、収支計算書等はいずれも正確である旨の報告がなされた。議長は同収支計算書等について賛否を諮り、賛成 337、棄権 1 にて承認された。

第二号議案 細則改訂について

菊地理事が細則改訂案にもとづき詳細な説明を行った。本案の内容につき出席者から改訂細則の公明正大な運用を求める意見が出された。議長は同案について賛否を諮り、賛成 335、反対 3 で承認された。

第三号議案 監事任期満了に伴う新監事の選任について

議長は、定款 14 条第 1 項による新監事の選任について説明を求めた。宮寄副理事長から理事会において以下 3 名の新監事候補を推挙した経過等詳細な説明がなされた。議長は新監事候補の選任についてその賛否を諮り、賛成 337、反対 1 で承認された。

新任監事：鈴木 剛、金子良三。 再任監事：齊藤 彰

第四号議案 理事任期満了に伴う理事会の選任理事の信任について

議長は、細則第 11 条による理事会選任理事の信任について説明を求めた。宮寄副理事長から任期満了理事 17 名のうち、理事 12 名の再任と 5 名の任期満了退任を決議し、合わせ次の新任理事 8 名の選任を決議したこと等詳細な説明がなされた。議長は理事会で選任された 12 名の再任理事及び 8 名の新任理事についてその賛否を諮り、賛成 335、反対 3 で信任された。

再任理事：宮寄哲郎、菊地功、市東明義、大野悦子、細田良子、高田勝弘、菊地範夫、村松幸子、小林孝、平賀國廣、今野力男、橋本慧。新任理事：染谷克義、渡辺義郎、平野雅一、横井保夫、磯崎興志、中林勝、平方濱、馬場章介。

第五号議案 平成 18 年度事業計画・会計収支予算について

菊地理事が同年度の事業計画書案および収支予算書案にもとづき詳細な説明を行った。議長は同案について賛否を諮り、原案通り満場一致で承認された。

第六号議案 平尾顧問の除名について

第七号議案 小沢顧問の除名について

酒匂理事長が定款 11 条の規定に基づき両顧問の除名という処置を取らざるを得なかった経緯を説明した。猶、詳しい経緯は本人の主張を含め、会報春季号(平尾顧問)及び総会当日配布資料(小沢顧問)に掲載してあると説明された。

議長は、両議案は個人の尊厳にかかわる問題なので、質問・意見がある場合は本件を調査した苦情処理委員会に説明を求めて頂くこととし、直ちに両議案の賛否を諮り、以下の如く、いずれも賛成多数で承認された。

第六号議案 賛成 309、反対 10、棄権 19

第七号議案 賛成 307、反対 10、棄権 21

議長は本日の総会における議案の総てが終了したことを告げ、議事の進行に関し出席者の協力を謝し、閉会を宣した。

平成 18 年 5 月 28 日

議事録署名人

議 長 橋本慧 

出席者 有馬寛三 

情報交換会報告

1.日時:平成18年5月28日(日) 13:00～17:00

2.内容

(1)「ロングステイ最新の情報と傾向」

(財)ロングステイ財団事業部長 山田美鈴様

そもそもロングステイ(LS)という言葉はロングステイ財団が商標登録した造語で「生活の源泉は日本に置きながら海外の一ヶ所に長く(2週間以上)滞在し、国際親善に寄与する海外滞在型余暇の総称を意味する。

団塊の世代(S22年～S24年生まれ)の定年退職が始まる時代を間近に控え、これら世代の退職後のライフスタイルの傾向調査を行った。

その結果、定年退職を迎える団塊の世代676万人の内、LSを求める人は約150万人(年平均50万人)という結果となり、凄まじいLSの潜在的需要が控えていることが分った。

但し今回の調査では、一方で「国内田舎暮らし」といったライフスタイルの多様化、「言葉の問題」といった障害もクローズアップされているので、必ずしも希望のLSがそのまま実施に至るとは考えにくい面もある。

言葉合わせではないが、Longstayerは自分自身が個人としての許容量を広げて、心からLovely stayしないと、長続きしないことになると思う。

滞在先の希望地順位は、オーストラリア・マレーシア・ハワイ・カナダ・タイ・・・である。

LS先として常に人気の高い国オーストラリアの特集を同財団が2006年春季号に出しており、希望者に配布された。

ホットニュース、フィリピンのリタイヤメントビザ(50歳以上)が2006年5月28日付けで今後6ヶ月間を限度に2万米ドルで取得出来る事になった。それ以降は継続するかどうか分からない。なお5月27日までの申込者はこの恩恵には該当しない。(齋木バギオ支部長からも本ニュースが入った。)

オーストラリアのビザ取得には1億円位必要と言うのに、これはフィリピン志向者には良いニュースに思える(24:酒匂氏談)



(2)「タイLS及びLSビザ事情」

タイ国政府観光庁 マーケティング マネージャー 藤村善章様

今年6月第1～第3週は国王在位60周年記念式典が予定されており、この間の訪タイは出来れば避けた方が良い。また来年は日・タイ友好120周年に当る。

タイを訪問した外国人総数は年間1,000万人で、その内の日本人は119万人になるそうです。

タイ観光のポイントはバンコク・プーケット・チェンマイ・サムイなどで、いずれにも日本人会があります。

LSビザの有効期限は1年、80万バーツ(1人約240万円)の金融証明書(タイ国籍の銀行)が必要。しかしビザ更新は空港(イミグレ・ション)で比較的容易(1年ごと)に出来る。

観光(ノービザ約1ヶ月《30日以内》滞在)での1月毎の入出国でのビザ更新は、チェックが厳しくなった。ただイミグレ・ションでのチェックは、担当者によっても異なり絶対駄目とは云え



ない。

・チェンマイの（KKトラベル）ジョンさんに酒匂氏が、1月毎の入出国でのビザ更新の件をスカイプアウトで、問い合わせました。チェンマイからゴールドトライアングル方面に行くビザ取得ツアーでは、今のところ問題は発生していないとの回答でした。

長期滞在（3ヶ月）者は年金ビザ（年金証明で）取得を勧める。

日本人のLongstayerの注意点

*日本人同士が溜り場を作るが、そこでの人間関係に気を使い、自分自身の係り合い方を良く考えること。

*ある程度距離を置いた方が、良い付き合いが出来るかもしれない。

(3)「海外生活必携3大Goods：i pod・スカイプ電話機・携帯端末機（PDA）」

南の会パソコンアドバイザー：宇野 修 様

初めに、「宇野修様の当会のHP作成・維持に対する多大なる貢献」に対し、酒匂前理事長から感謝状と粗品が渡されました。

パソコン絡みのこの分野の技術革新の速度は凄まじく、正に文字通り、日進月歩である。

特にスカイプは、メールをしているもの同士なら全く無料で使用できる電話であり、これを利用しない理由はどこにも無い(参加者の内8割くらいの方は利用していなかった)。スカイプの音質は非常によく、更に良いのは、このスカイプで大量の文書を瞬時に相手に送れることで、この文書送付能力は音声が悪くても影響を受けないようです。またスカイプにはカメラを付けてテレビ電話的使用も出来る。

スカイプを使っている人は、バージョンアップをして下さい(赤いSから青いSへ)。

ごく最近パイオニアが子機タイプのスカイプを発売した。これだと無線なのでスカイプが更に便利になる。

iPodは勿論音楽を聴くために使われるが、スカイプ機能を記憶させてスカイプとしても利用できる。

WindowsはXPが最新であるが、次世代のVISTAが来年には発売されるでしょう。

PDAという素晴らしい機能が出てきました。Personal Digital Assistanceの略で外で自由にインターネットが繋がるというのですが、これはまだ高価なのでしばらく様子を見てから手を出した方が良いでしょう。



(4)その他。前回のサロン会に出席されたブルガリアからの留学生ベロニカさんの大学の友達、イランのMsレイラさんが本当に綺麗な民族衣装で、母国イランについて語られました。生まれは首都テヘランとかで、生まれたところの気候風土に始まり、本当に素朴な感じで熱心に説明されました。途中ベロニカさんも加わり、簡単な挨拶、数字等をそれぞれのお国言葉で話してもらいました。これらの言葉の一部に、英語やフランス語を語源とする言葉も混じっており、皆興味津々に聞いていました。
(要約No.259 菊地 功)

総会・情報交換会 風景



レイラさん(左)とベロニカさん(右)

平成18年度事業計画書

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

1. 事業の方針

(1) 新規事業

- * 拡大準備積立金の有効使途の具体化を目指す(国際交流・親睦、団塊世代対策等)。
- * 新規HPの充実・MLの健全な普及啓蒙を目指す。
- * 会計処理の合理化を計る。
- * NPO法人活動の両輪のもう一つ「不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与する」ことを意識した活動を取り入れる、または既に行っているこの種活動を推進する。その一例として一般の人々を対象とした有料セミナーを計画実施する。

(2) 継続事業

- * 会報の発行・発送事業を継続し、内容の更なる充実と迅速なる発送を目指す。
- * 当会への入会問い合わせ者への迅速な対応を図り新会員アップを計ると共に、会員のレベル低下防止を計る。
- * 発行した「南国暮らし便利帳・医療編」の使用状況を調査し、改訂グレードアップを目指す。
- * 支部の組織化、計画的活動の更なる充実、本部との連携の強化を目指す。
- * サロン会を軸に、情報交換会、講演会、支部会、会企画の国内外旅行会を開催し、会員相互の研鑽と親睦を深める。
- * わが国の退職者等を歓迎する国々の情報を引き続き収集・調査する。
- * サロン会用名刺兼用の「会員証」発行を継続する。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定	実施予定場所・内容	備考
会報作成	会報発行(新年・春・夏・秋)	年4回	表紙のカラー化継続 商標登録証の掲載	会報委員会
会報発送	会報・同封資料の発送	年4回	正確な梱包発送作業と海外発送の迅速化	約10名/回
資料等製作	問合せ・入会者への資料作成送付	随時	約500件/年	会員担当
報告書等製作	会報同封資料の作成	年4回	会員名簿・「必携」の追加資料等の作成	会員担当
	海外暮らし便利帳・医療編の改訂準備	一年掛ける	発行冊子のグレードアップ	医療介護調査委員会
	会員証の発行	夏季号に同封	サロン会名札兼用タイプ	有効期限カット 会員担当
案内書製作	「入会のすすめ」増刷	随時	500部	会員担当
	「必携」新版製作・印刷	夏季号に同封	細則改訂を機に全面改訂。	必携委員会 会員担当
広報活動	对外情報の一括管理 新HPのメンテナンス MLの管理	常時	マスコミとの接点を一箇所に絞る。新HPの有効活用	広報委員会 HP委員会 ML委員会
支部活動支援	国内7支部・海外9支部に補助金等支給	随時	各支部との交流促進。 海外支部の支援強化。 ハワイ支部発足予定。	支部推進委員会
	支部単位でサロン会・懇親会・支部役員会等実施	随時	地域活動の推進。 適時人事交流。	支部推進委員会
社会貢献(新規)	一般を対象にセミナー開催	1回/年	啓蒙活動	事業拡張委員会
	LS地への寄付活動	随時	LS地への返礼	事業拡張委員会
通常総会	総会開催	1回/年	東京	総務部
理事会・役員会	理事会の開催 役員会の開催	8回/年 1回/年	東京	他に各種委員会

(2) 収益事業：なし

平成18年度特定非営利活動に係わる会計収支予算書

- 平成18年4月1日から平成19年3月31日まで -

2006.5.21

特定非営利活動法人 南国暮らしの会
(単位:円)

科 目	前年度 予算額 (A)	本年度 予算額 (B)	差 異 (B - A)	摘 要
. 収入の部				
1) 入会金収入	1,000,000	1,030,000	30,000	入会金：5,000 円，想定新規入会者数：206 名(前年比 20%up)
2) 会費収入	3,115,000	3,550,000	435,000	会費：5,000 円，想定継続会員数：504 名(継続率:80%)
3) 資料売収入	350,000	350,000	0	想定有料資料請求者数：350 名
4) 寄付金収入	100,000	100,000	0	
5) 基本金等利息収入	100	100	0	
6) 雑 収 入	15,000	15,000	0	有料名刺作成料
7) 事業拡張準備金より繰入れ	0	0	0	
1. 当期収入合計	4,580,100	5,045,100	465,000	
2. 前期繰越	307,078	323,639	16,561	前年度決算での繰越額
3. 収入合計	4,887,178	5,368,739	481,561	1. + 2.
. 支出の部				
1) 事業費	3,302,000	4,051,000	749,000	
会報等事業費	1,005,000	1,232,000	227,000	発行部数アップ
会報等送料費	531,000	512,000	19,000	輸送合理化
資料等製作事業費	415,000	440,000	25,000	入会者アップ
報告書等製作事業費	357,000	161,000	196,000	特に新規事項なし
案内書製作事業費	0	400,000	400,000	「必携」更新、「入会案内」増刷
広報活動事業費	140,000	242,000	102,000	新 HP メンテナンス強化
講師等謝礼費	60,000	75,000	15,000	携帯支給 80,000 円含まず
支部関係事業費	794,000	779,000	15,000	ハワイ支部設立を想定
社会貢献事業費	-	210,000	210,000	セミナー開催・寄付金活動
2) 管理費	1,211,000	1,011,000	200,000	
事務用消耗品費	95,000	131,000	36,000	支給名刺作成費アップ
諸会・交通補助費	733,000	678,000	55,000	実績スライド
内外通信費	234,000	50,000	184,000	電話受信代行契約取止め。スカイプ利用
雑費	72,000	132,000	60,000	会議室使用料アップ
寄付金支出	20,000	0	20,000	事業費 へ移行
その他	57,000	20,000	37,000	インターネット会計契約
3) 予備費	50,000	50,000	0	
4. 当期支出合計	4,563,000	5,112,000	549,000	1) + 2) + 3)
5. 当期収支差額	17,100	66,900	84,000	1. - 4.
6. 次期繰越収支差額	324,178	256,739	67,439	3. - 4.

注1. 会員数合計 710 名を想定しており、この増減により収入・経費も大きく増減するので、期央において予算の見通しを検討し、健全な運営に努める。

平成 17 年度 事業報告書

(平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

理事長 酒匂 景輝

1. 事業の成果

1) 理事の定員

16 年度に理事定員を 5 名増員し 20 名で運営していたのですが、理事が数名辞任され、17 年度は当面 17 名でスタートしました。しかし、種々問題が発生し理事辞任が続き、一方補充は 3 名に留まり、最終的には理事 18 名となっています(補充中の 1 名は、経理業務引継ぎのため)。理事個人の負荷が過大にならないようにと、定員増を計った効果が十分には発揮出来ず、業務分担システムを一部変更したりしたのですが、まだ一部に業務量の偏りも見られます。18 年度は理事改編の時期に当るので、各理事の意向を確認し、新体制は理事 20 名でスタートする事にしています。

2) 支部の組織的活動

17 年度総会の翌日の 6 月 5 日、2 回目の国内支部長会を実施し、各支部の現況報告、17 年度行事予定が説明され、活発な意見交換が行われました。支部毎の地域特性の差が大きく影響し、支部予算一つをとっても横並びの比較が難しく、支部活動補助金算出の根拠が立て難しく、今後の課題となっています。いずれにしても各支部とも、支部連絡会などで支部会員の総意を出来るだけ汲み上げた活動の方向へ進んでいると確信しています。尚、会員数の約半数を占める関東支部は地域が極めて広範囲で逆に支部活動が難しいことから、昨年度に、支部を分割し地域単位で活動を計ることとしています。地域により差はありますが、かなり活発な活動を展開している地域も出ております。

3) 国内支部活動

支部単位で海外視察旅行を実施する、マスコミを招聘した支部大会を企画実施する、休日開催のサロン会の他に定期的に平日サロン会を開催する、また支部行事に他支部会員の参画を呼びかけるなど、各支部を組織化したための大変前向きな動きが活発になっており、一部には会則が追いつかない傾向も出ており、理事会の重要性が増大したとも言えそうです。

4) 理事会運営の現状に対する各種クレームの発生とその処置

本項は、成果とは言えませんが、活発な支部活動に某理事を派遣したことに端を発する大きな問題が発生しました。そして一年間の紛糾の中で、理事 2 名辞任、1 名入会拒否、顧問 1 名除名(当会の名誉を傷つけたという理事会の判断に基づくもの)ということになり、18 年度総会の審議項目となっております。この入会拒否および某顧問の除名という初めての対応は、認証自治体である東京都担当職員とも数回にわたり相談の上、理事会として判断したものです。その理事会の判断で行ったことが、別の受け取り方をされ、これが強いては、全理事への不信、理事会への不信となり、他の会員へ伝播して行くという悪循環となり、会の運営に支障を来しました。勿論、これらの処置は万やむを得ず行ったものでありますが、その判断の難しさを痛感した一年でした。尚これら苦情等への今後の対応について理事会で協議した結果、「臨時苦情処理委員会」を立ち上げ、今後この種問題に関しては、この委員会が十分協議・調整し、その結果を理事会で審議決断することとしました。しかし、当会は会員相互の親睦を旨としております。沢山の会則・規則で会を縛ることは出来ればしたくありません。役員を含めた全会員の節度ある行動を切に願うものです。

5) 会員相互の情報交換活動

前年より顕著になってきた会員同士が「サロン会」的に情報を交換するスタイルが定着し、更にここで出来た仲間同士で海外に行くというケースも一般的になりつつあります。しかし会全体としてみた場合、果たしてこの流れのまま良いものか、この流れに乗れない会員もいるのではないかと思われるので、18 年度は会主催旅行会も企画することを考えています。

6) 気の合った仲間づくり

老後を海外で豊かにという人生設計において、金銭的な余裕も勿論大事ですが、気の合った仲間と楽しく過ごすことは、それ以上に重要な要素かも知れません。その意味でも 17 年度は前年に引き続き、会員による「料理教室」「パソコン教室」などの積極的なクラブ活動が展開されました。

7) 海外支部の動向

新会員の増大もあり、積極的に海外へ L S の視察旅行に出掛ける会員も増加しました。その結果、

海外支部への負荷が益々大きくなってきました。当会の最大の魅力がこの海外各支部の存在であり、ここで全国の会員同士が新たな接触が出来るということは素晴らしいことだと思います。然るに、これまでは会として海外各支部の個人的協力に頼ってきた悪い面があったと反省しています。そこで今年度以降、金額は僅かですが一部補助金を増額し、海外支部長・副支部長へ慰労金を贈る事としました。また今年度も海外視察会員の、本人が意識しない良識違反的な行動によりK/L支部長が辞任されました(後任支部長就任済み)。この様なこともあり、会員配布の「必携」を全面改訂し、「海外べからず集」的な分りやすいものを編集すべく、今年度はその編集作業を行いました。尚、ダバオ支部長は生活の本拠地を日本に移されたため、支部長職は辞任されましたが、ダバオとの係りは維持されており、会では後任支部長を検討中です。また空席のバンコク支部長が決りました。ハワイ支部の新設については、新設する方向で検討中です。

8) インターネット関連業務の推進

これまでインターネット関連業務を、実務を含めて主導されてきた理事が辞任されたこともあり、この業務の進め方を大幅に変更し、インターネット委員会をメール委員会とHP委員会に分割しました。そしてメール委員会で問題のある事項と判断したら、理事会に諮り決定するシステムにしました。またHP委員会のHP作成実務は、春日部パソコン教室講師と技術サポート契約を締結して推進することとしました。そして18年1月1日付で、新HPを立ち上げることが出来、積極的にデータ更新を行っております。現在、新HPの立ち上げ後数ヶ月経過しており、一新されたHPは未だ完璧とは言えませんが、多くの方から素晴らしいHPであると高い評価を頂いております。

9) インターネット利用電話・スカイプの有効利用

インターネット利用者間では、パソコン同士の海外交信も含め通話料無料・4人までは同時使用(会議形式)も可能と言うスカイプシステムの利用が拡大しました。メールを書く手間が省け、時間無制限で意見交換が出来ると言う大変大きなメリットがあり、当会の通信費削減にも寄与することが期待されます。本システムは多くの会員に普及し、皆さん文明の利器が享受でき最先端を走っておられます。

10) 会員証発行

会報秋季号同封で期限付き(平成18年3月31日まで)会員証を初めて発行しました。海外で名刺的な使い方をし、当会会員としての自覚を持って貰いたいという願望と、サロン会の名札としても使える利便性を狙ったものです。期限を付けたのは当会が年会費制度を採っていることと、毎年10%以上の会員が更新手続きをしないことから定めたのですが、会員証発行事務の煩雑さと、今のところ悪用される恐れは少ないと判断し、18年度は期限なしの会員証を発行する予定としています。

11) 自然大災害に対する考え方

今年度発生したパキスタン大地震に対して、会としての寄付金活動の要請が会員の中からありました。確かに16年度に発生したスマトラ沖大地震の津波災害に対して、当会は僅かばかりの寄付をしましたが、原則として会としての寄付金を集める活動はせず、会員個々の判断で、個人ベースで活動していただくことにしました。但しLSで世話になっている地域が大災害を受けた場合は、積極的に関与したいとの方針を立てました。

12) 会報バックナンバーデータベース化

以前より懸案事項でした会報バックナンバーのデータベース化を、会員の協力申し出により、現在進行中です。平成18年度中にはデータベース化が完成するものと思われれます。皆様、ご期待下さい。

2. 事業の実施に関する事項

1) 会報作成 / 発行

春季号(NO.28)	17年4月24日発行	(56頁)
夏季号(NO.29)	17年7月23日発行	(64頁)
秋季号(NO.30)	17年10月22日発行	(63頁)
新年号(NO.31)	18年1月28日発行	(58頁)

2) 内外通信関係

ホームページ(HP)

本年度からホームページ委員会が発足しました。本年1月1日に更新配信したホームページは昨年9月より3ヶ月を掛けて編集作業をしたものですが、まだ未完成の部分が多い状態です。しかしかなり高度の技術を駆使していますので、他のホームページと互角に見られるものと思います。国内海外各支部長はじめ、写真、原稿の提供に多くの会員にご協力いただき、又制作に当たりサポートをお願いしている宇野修、菊地由香両先生に技術面で大変お世話になりました。

メーリングリスト(ML)

現在登録会員は433名で利用者は大幅に増加しました。但し、MLのHPはヤフーのIDを持たないと見ることが出来ず、ID所持者は約100名のため、大部分の方がこのHPを利用できずにおりますので、今後はその啓蒙もメール委員会の活動目標の一つと考えています。

本年はドメインを取得し、当会独自のホームページアドレス、Eメールアドレスを持つことが出来ました。会員であれば個人としてもEメールアドレスを取得できますが、有料のためか、希望者は1名でした。

また本年度はMLに二度ウィルスが入り込み、短期間に大量の迷惑メールが送られ、皆様に大変ご迷惑をお掛けしました。このため皆様全員がアンチウィルスソフトを導入されることをお願いし、新規登録希望の方にはアンチウィルスソフトが導入されていることを確かめさせていただいてから登録するようにしております。

今後更に研究し、全会員相互の利用を目指します。

3) 支部活動関係

関東支部会

1) 情報交換会

17.06.04:「南の会」総会に引き続き開催 90名。

2) サロン会

17年度サロン会は合計9回開催されました。9回の参加者平均は82名(最大は110名)で前年度の平均71名から大幅にアップしました。

3) 特別企画一泊バスツアー(那須高雄温泉) 17.09.11~12 40名参加

4) 地区役員会

)17.06.19 7名。

)16.07.31 12名。

関西支部会

1) 例会(支部総会、懇親会を含む)3回実施)17.7.3 17名)17.11.6 14名
)18.3.12 28名

2) サロン会(ミニサロン会・勉強会・親睦会)3回実施)17.10.22 14名)17.11.27 8名
)18.03.18 28名

3) 役員会 7回実施

九州支部会

1) 支部役員会)17.08.25 4名)18.03.18 5名

2) 支部総会・懇親会)17.04.01 14名

3) 支部サロン会・情報交換会)17.05.14 15名)17.08.31 23名
)17.11.24 15名)18.01.07 24名

4) ロングステイセミナー(熊本)17.04.15 支部会員 19名、セミナー参加者 62名

甲信越支部会

17.05.20 甲信越支部会を兼ねて、いずみのリゾート女神湖畔アンピエント蓼科に一泊旅行(12名参加)。

東海支部会

1) 定例会・サロン会(懇親会含む)毎月実施(合計12回)平均26名参加 最大42名(18年1月新年会)参加

2) 平日懇親会 毎月合計12回実施 平均参加者12名 最大29名参加

3) 役員会 17.10. 17名参加

北海道支部会

1) 支部総会・情報交換会・懇親会 17.05.28 28名参加

2) サロン会 17.08.06 24名参加

3) 情報交換会・懇親会 17.10.29 27名参加

4) 支部役員会 18.02.09 3名参加

東北支部会

1) 東北支部総会を兼ねて青森ねぶた祭り見学会開催 17.08.04~06 2泊 参加者:8名

チェンマイ支部会

1) 18.01.18 チェンライ・ドイ・メーサロン・ドイ・トゥーン泊二日旅行、参加者:28名

2) サロン会)17.05.19 16名)17.06.19 26名)17.08.21 14名

)17.09.18 12名)17.10.16 15名)17.11.20 20名

)17.12.18 20名)18.01.21 43名)18.02.18 35名

)18.03.18 17名

4) 広報活動

広報委員会は毎年、TV、新聞、雑誌等各方面から取材を受けます。本年度後半あたりから各業界の傾向として、2007年問題の「団塊の世代」を対象にしたテーマを目的とした取材内容が多く、「離婚を機にロングステイ？」や「日本に失望してロングステイ？」等、南の会会員には該当しない取材内容ですので前年度より取材件数は減少しています。しかし今後も積極的に各業界の取材に応じて南の会を広めていきます。

3. 会の管理に関する事項

1) 総会関係

平成17年06月04日、会員234名(うち委任状182名)が出席して実施。

2) 理事会関係

平成16年度第7回理事会:平成17年04月09日、理事15名・監事1名出席。

平成16年度第8回理事会:平成17年05月07日、理事17名出席。

平成16年度第9回理事会:平成17年05月28日、理事14名出席。

平成17年度第1回理事会:平成17年07月30日、理事13名出席。

平成17年度第2回理事会:平成17年09月17日、理事17名・監事1名出席。

平成17年度第3回理事会:平成17年10月30日、理事13名出席。

平成17年度第4回理事会:平成17年11月27日、理事13名・監事1名出席。

平成17年度第5回理事会:平成17年12月24日、理事13名出席。

平成17年度第6回理事会:平成18年03月18日、理事13名出席。

平成17年度第7回臨時理事会:平成18年03月21日、理事14名・監事1名出席。

平成17年度第8回理事会:平成18年04月08日、理事15名・監事1名出席。

3) 役員会関係

平成18年03月21日、理事14名、監事1名、支部長5名、顧問7名、元顧問1名(本人参加要請)が参加して実施。活発な意見交換がなされた後、H顧問の提起問題の意見交換に入りました。H顧問本人からの提言理由が聞けたため、理事・監事以外に退席を願い、会を臨時理事会に切替え、慎重審議の結果、H顧問に自主退会を勧め、それに応じない場合は、定款第11条に基づき除名処分とすることを全会一致で決議し、本人に通達しました。本人が、自主退会を選択しなかったため、本件は、総会議決項目となります。

4) 会員動向

平成18年3月末現在の会費納入会員数は661名(内18年1月以降の入会者・18年度会員は41名)となっております。

以上

平成17年度特定非営利活動に係わる会計収支計算書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

(単位 : 円)

科目	予算額(A)	実績(B)	差異(B-A)	摘要
.収入の部				
(1)入会金収入	1,000,000	720,000	280000	5000円×144名
(2)会費収入	3,115,000	3,105,000	10000	5000円×621名
(3)資料売収入	350,000	173,000	177000	1000円×171名、会報4冊分
(4)寄付金収入	100,000	335,000	235000	
(5)基本金等利息収入	100	35	65	
(6)雑収入	15,000	41,727	26727	名刺印刷代、バスツアー代金計上
(7)事業拡張準備金繰入	0	0	0	
1、当期収入合計	4,580,100	4,374,762	205338	
2、前期繰越	307,078	307,078	0	
3、収入合計	4,887,178	4,681,840	205338	
、支出の部				
(1)事業費	3,302,000	2,585,563	716437	
会報等事業費	1,005,000	1,131,779	126779	年4回発行
会報等送料費	531,000	462,398	68602	年4回発行
資料等製作事業費	415,000	142,447	272553	会報添付資料の手作業による作成
報告書等製作事業費	357,000	106,665	250335	会員名簿作成、会員証作成費
案内書作成事業費	0	0	0	
広報活動事業費	140,000	93,649	46351	ホームページ作成ソフト購入
講師等謝礼費	60,000	60,000	0	
支部関係事業費	794,000	588,625	205375	支部との交流の回数が予想より少ない
(2)管理費	1,261,000	1,272,638	11638	
事務用消耗品費	95,000	126,215	31215	理事、支部長交代で名刺作成増大
諸会・交通補助費	733,000	845,799	112799	理事増大、役員の交通費補助額増
内外通信費	234,000	125,733	108267	電話受信代行契約は来期に持ち越し
雑費	72,000	93,272	21272	理事会の会場費、資料のコピー代など
寄付金支出	20,000	0	20000	
その他	57,000	81,619	24619	ドメイン取得代、バスツアー代金計上
(3)予備費	50,000	0	50000	
4、当期支出合計	4,563,000	3,858,201	704799	
5、当期収支差額(1-4)	17,100	516,561	499461	
事業拡張準備金		500,000		
6、次期繰越	324,178	323,639	539	

平成17年度特定非営利活動に係わる会計貸借対照表
(平成18年3月31日現在)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

(単位：円)

科 目	金 額		
1.資産の部			
(1) 流動資産			
現金預金	5,083,639		
未収入金	5,000		
流動資産合計		5,088,639	
資産合計			5,088,639
2.負債の部			
(1) 流動負債			
前受金	2,765,000		
立替金	0		
流動負債合計		2,765,000	
3.正味財産の部			
基本金		300,000	
事業拡張準備金		1,700,000	
次期繰越金		323,639	
正味財産合計		2,323,639	
負債及び正味財産合計			5,088,639

上記監査の結果、いずれも正確である事を認めます。

平成18年 5月 28 日

特定非営利活動法人 南国暮らしの会 監査会

監事 齊藤 彰 印

監事 磯崎 樂志 印

18年度国内支部長会報告

総務担当 No.259 菊地 功

日時:平成18年5月27日(土) 13時～17時

場所:品川第2地域センター集会室

出席者:

- * 関西支部大木支部長代行、東海支部高橋支部長、関東支部宮崎支部長、市東副支部長、九州支部稲田支部長、東北支部氏家副支部長、甲信越支部宮澤支部長、橋本副支部長、北海道支部工藤支部長
- * 酒匂理事長、高田理事、横井理事、菊地ノ理事、今野理事、菊地イ理事、大野理事、染谷理事、磯崎監事
- * ペナン木村支部長、同木村副支部長、セブ川上支部長、バギオ斉木支部長、パース藤本支部長

1)17年度支部活動総括

北海道支部:6/17支部総会予定・支部役員一部変更予定。活動記録をスキャナーによりMLのブリーフケースに取り込んで誰でも閲覧できるようにしようとしている。

(要望事項)支部総会に誰か派遣してほしい。

東北支部 :昨年は8月ねぶた祭を機に支部会を開催した。今年も5/14総会・情報交換会を行ったが、地域が広範で纏めるのが非常に難しい。

甲信越支部:年一回6月蓼科で一泊懇親会を行うことに決めており、今年も6/23を予定している。エリアの中の長野・新潟は東京のほうが交通の便が良いので寧ろ関東支部とすべきではないか。

関東支部 :現在籍者331名でここ数年ほぼ全会員の1/2が関東支部会員となっている。現在は交流会の主体をサロン会においており、17年度は9回行った。今年も、国際交流年と位置づけ外部講師を招聘した催しを計画している。

東海支部 :丁度支部地域の中心に名古屋が位置しており、「この指とまれ」方式の活動が行いやすい利点がある。毎月、休日と平日にサロン会、即ち年24回交流会を行っている。今年もこの方式を予定すると共にマレー語講習会も計画している。中日新聞が出している「熟年ニューズペーパー」に会員の記事が掲載され、かなりの反響がある。支部会員増が期待される。

(要望事項)毎月新会員の連絡先を「第2日曜日」の前に連絡してほしい。

関西支部 :所謂関西の2府4県の会員70名の他に10県を合わせ会員140名の支部であるが、余りに広すぎる。それに対し現在役員が3名と少ない(支部長他1名の役員が辞められた)。サロン会は以前は40名位、最近は20～30名位であるが集りが悪く中止したこともある。

(要望事項)支部役員会の交通費は支給できるようにしてほしい。また会場費が高く、役員の手出しとなることがある。受益者負担が原則であり、役員会の交通費は会が負担するのが建前(全額とは限らない)、サロン会の会場費は参加者から徴収するのが原則。役員会の会場費は、会が負担するのが建前なので、できるだけ費用が掛からない方法を工夫してほしい。

九州支部 :昨年5月の熊本セミナーは非常に盛大であった。その他、情報交換会3回、役員会2回行った。スカイプ会議も2回行った。限界はあるが、役に立っている。今年度も踏襲する積りであるが、9月に支部でチェンマイツアーをしたいと思っている。

海外各支部:オブザーバーとして出席された各支部長から現状の報告あり、その主なものを下記します。

- * ペナン支部:現在の滞在者は21組、35名。団塊の世代の新人会者を考えるとNPO法人という制約を

考えても、何らかの制限を加えるべきではないか。支部運営の問題点は多い。

*セブ支部：現在居住している会員は5名。

*バギオ支部：現在居住している会員は会友1名を含め、3名。視察会員は多くなった。

*パース支部：現在居住している会員は1名。

*チェンマイ支部：支部長より提言がメールで来ていますが理事会で審議します。同地LS経験の長い宮澤甲信越支部長より、現地滞在の印象の報告がありました。

2) 支部関連予算の説明 予算案中の支部関連予算がそのまま了承された。

	支部活動補助金	講師などへの謝礼	合計
北海道支部	25,000円	10,000円	35,000円
東北支部	20,000		20,000
関東支部	45,000		45,000
関東甲信越支部	20,000		20,000
東海支部	55,000	20,000	75,000
関西支部	35,000	15,000	50,000
九州支部	35,000	15,000	50,000

3) 支部細則改訂の説明 次の変更を前提に承認された(改訂支部細則は「必携」に掲載されている)。

a) 第2条(支部)国内支部の範囲は、運営上いろいろ問題があるが、当面は現行分類通りとする。

b) 第5条(支部役員)は「支部に次の役員を置くことが出来る。」に変更とする。

c) 第11条(会計・予算) 支部予算の支部推進部への提出項目を予定行事項目と支部役員会交通費/会場費・通信費・コピー代等の支部共通費で支払うべき費用項目に限定する。その様式を決定しだ
い各支部に送付する。

d) 第12条(海外居住者の入会)海外支部への入会は当該支部長の推薦を前提とする。

4) その他

a) 会報委員会より MLに入っていない会員のためにも会報を充実させたいが、そのためにも各支部で編集委員を選んでいただいて原稿集めにご協力いただきたい(菊地ノ理事)。

b) 新支部役員メンバーを支部推進部に提出して下さい。

(以上)

フィリピン ダバオ ホームステイの記

関東支部 No.490 平澤 佳子

何処の国へ行っても一人でも多くの現地の人とふれあいたい、その生活も体験してみたい、と思うタイプの私は、今回ダバオの田舎に前支部長の平野さんの紹介でホームステイの機会を得ました。

ダバオ空港には平野さんと、義父の田中さんが出迎えて下さり、その夜は予約して頂いていたホテルに一泊。翌朝、以前に平野さんと同じ職場（日比ボランティア協会）で働いていたという、アナリーさんがホテルまで迎えに来てくれました。日本語を上手に話す彼女の家が私の滞在先です。

ダバオシティから車で小一時間走り、そのメイン道路から路地に入ったところは、私が子供の頃疎開していた田舎を思い出させる風景でした。

ニワトリ、アヒルの親子の行進、ぬかるんだ道端にはブタが寝転んでいる・・・

三匹の子豚を木の皮で丸め、肩に乗せて売りに行く青年が通る・・・手足をきつく結ばれ鳴き叫ぶ声がブー！フー！ウー！と聞こえたのは気のせい？

素敵！ツアー旅行にはない眺め！



そんな景観の中で、アナリーさんの家は突然のように現れた石造り2階建てで門扉のある立派な家でした。

ご主人のノーマンさん（建築設計士）は、他に建築資材の小売店（お国柄ネジ1本、トタン板1枚売りから扱っているような店）を営んでいます。

その店員として住込みのチェチェ（18才女性）とエントン（16才男性）がいます。他にアナリーさんのお父さん（日系人とあって日本人顔）、一人娘のハナメイ（学生）、妹（会社勤め）、メイドのジョジョ（18才女性）そこに私が加わって9人となり、ペットの犬2匹、猿一匹がしばしの家族となったのでした。

「私に与えられた部屋」は、1階の明るい8畳ほどの広さで、設備としてはTV（NHKは見られない）扇風機、と電気のつかない電気スタンドはおまけ。水のシャワー（昼の暑さで身体が火照っているの、夕方シャワーを浴びるときは、息を止め気合が必要）水洗トイレは有り難かったが便座が割れていて、座るたびにお尻が挟まれる。

こんな経験は家にくすぶっていたら出来なかった！

「食事」はご飯で満腹感を味わうのがフィリピン風ようです。例えば副食はから揚げの鰯一匹に醤油タレ（生姜、にんにく、トマト、葱のみじん切りの入ったもの）をかけたものと、ピリ辛い海藻が少しという具合。おかずが足らなかったら、ご飯に醤油タレをかけて食べるだけのこと。

素晴らしい！苦労なくダイエットできる！

「家での生活」一日目は、アナリーさんが18才の時、日系人学校で推薦を受けて日本に留学した時の事や、若くして亡くなられたお母さんのこと、お父さんが脳梗塞で倒れた時の看病の大変だったこと・・・などなど日本語で話せるから苦労はない。ひとしきりのおしゃべりの後は散歩。

アナリーさん宅前までは、デコボコ道ながら車も通れる道幅があるが、そこから奥はなにやら雰囲気が違う。「行ってみたい」という私に、ノーマンさんが鳥撃ちを兼ねて散弾銃を持ち護衛？してくれた。

バナナや椰子の木を背景にした野原の一本道を奥に進むと左右は板を一枚おきに打ち付けたような家が散在する。生活は貧しそうに見えるが、毎朝アナリーさん宅前を通過して学校に行く子供たちの姿は、こざっぱりしていてとても明るい。

そこを通り抜けると川で行き止まりになる。川辺には枝と枝に結んだ村人共用と思われるハンモックがあり、ますますのどかな雰囲気だ。何処までも続く青空をキャンパスにならぶ椰子の木、鳥のさえずり・・・

これこそ南国の三点セット！

二日目は徒歩5～6分の所にある陽気なアレンドリアさんの店サリサリ（万屋）にジョジョの案内で行く。隣のストランのカルメンさんやその従業員、他に知らない人達が集まり揚げバナナを食べながらのフィリピン風井戸端会議。そんな最中、目の前を葬儀の列が行く。花輪で飾った白いバンに載せられた棺を先頭に、普段着のままの人々の行列が続くが、暗さはまったくない。

いつもぶっ飛ばしているジブニーもバスもトラックも、霊柩車とそれに続く人々を追い越さないのが、唯一厳粛さを感じさせる。葬式を話題にするでもなく、おばさん達のおしゃべりは止まらない。

これも異文化経験

午後はアナリーさんが「ジブニーの乗り方研修」を兼ねて、シティのショッピングセンターへ案内してくれる。

ダバオ到着の翌朝には“田舎”に直行してしまったので、何でも揃っている大きな建物にオノボリさん状態になりつつも、文房具店でシティマップを買う。そして初めて自分が滞在しているブナワン市が、シティからダバオ湾に沿って北上し、市内の外れに位置している事を確認した次第。

嬉しや！地図入手で何処でもいける！

次の日、毎日早朝からの通学で疲れているというハナメイを残し、メイドの仕事以外知らないというジョジョと、ショッピングセンターに一度も行ったことがないというエントン（彼は小学校も出ていない）、しっかりタイプのチェチェの三人をシティに連れて行く。「少しのおすそ分け」をしたくなったのだ。

彼女らにしたら必ずしも少額ではないと思う小遣いを、それぞれにあげたら、気前のいい使いっぷり。後で聞いたことだが、フィリピンではたとえ銀行員でも、給料は2回に分けて払い決まりがあるそうだ。

宵越しの金は持たない気質は江戸っ子以上らしい。一時でも楽しんでくれたらマァいいか。

これって親切？施し？自己満足？と考えつつ

四日目は平野さんはじめ、同時期にダバオ滞在中の方々が一バーベキュー用の食材（魚介類、海ぶどう、野菜、果物）を沢山市場から買い込んで来てくださり、久し振りの栄養補給！？

満腹後、カラオケ好きの人は歌で消化し、一方ではおしゃべりに花咲かせ、それぞれ満足した後は新鮮、もぎたてのジュースを飲みに行きましょう！となって2台のジープに分乗。

15分ほど舗装道路を走ると、そこはアナリーさんのお婆ちゃんが所有する椰子林の入り口。そこから水牛の牽く荷車に乗り換えた。前日の雨でぬかるんだ泥道は、荷車が上下左右に大きく揺れて、子供に戻りキャーキャーと笑い転げました。

椰子林の管理を任されているという青年が猿のような器用さで木に登り、落としてくれた椰子をその場でカットしてくれて、言葉どうりもぎたてココナッツジュースを美味しく頂きました。

ご馳走様の日でした

「そして落ち込む夜のお話」

当然ながらダバオにも毎日夜が来て、ベッドに横になると・・・昼間は気づかなかった色々な騒音の出番となる。貯水槽のモーターのうなり音、リビングのテレビが消えて静かになった・・・と思う間もなく、2階で使いだしたエアコン室外機のグァーン、グァーンという音、枕元で大型ドラム式洗濯機が回っているんじゃないかと思うほどの騒音が、切れたかと思うとすぐ動き出して夜中の3時になっても寝られない。

リビングのソファで寝ようと移動したら、そこにはピラニアの水槽があって、そのポンプの音でここも駄目。枕抱えて悶絶？している間に夜がしらじらと明けてくると、今度はニワトリが首を思いっきり伸ばして発声練習を始める。それと同時に6時半過ぎから決まって隣の家からラジオが聞こえだす。そのボリュームは半端じゃないが長時間でないのだけが神様のお助け。一段落すると家人のテレビ観賞が始まり、音から開放されることはない。

ほかの事はなんでも平気と自負しているつもりだが、寒さと騒音だけは弱いんです。

それと、一泊2,000ペソを1,500ペソ(3,700円)に値引きしてもらった宿泊費もフィリピンの物価安をアテにしていた私にはイタイ。

2週間の予定は挫折か？

「ホテル探し」しなくちゃと、先日入手した地図を片手にジブニーをふる活用し、一日かけて6軒下見する。最後に調べたバゴボホテルが気に入り、予約して帰宅。最後の夜をむかえました。私のホームステイ体験はそんなわけで5泊6日で終わったのです。

翌日に移動したホテルは利便性のよい立地条件にありながら、静かでエントランスには銃を

持ったガードマンもいて、かつては若かった私の一人旅にも警備は万全。

とりあえず5日間泊まる約束で、ツインベッドルーム(ホットシャワー、CATV、エアコン付きで920ペソ)をシングルルームの値段720ペソ(1,800円)に値切り交渉成立(3連泊以上する時は必ず値段交渉するのは私の常識の範囲)

結局このホテルに12日間滞在することになりました。(最後の2日間はリゾートホテルで2泊して帰国)

「人々との出会い」

バゴボホテルのフロントで働くアニーの家(2階建ての大きな家で、家賃は4,500ペソとか)に招待されたり、たまたま道を尋ねたのが、ミンダナオ国際大学で日本語を勉強中という学生達で、しばしの会話練習とアドレス交換。

フィリッピーノと結婚して11年たった今でも熱々のS氏家族。彼等のパーティに誘ってくださったOさん。20代の頃の交通事故で16年間寝たきりになり、それでも口にくわえた棒でパソコンで世界を広げているTさん。大きな身体でしぐさの可愛いオカマさんや、ダバオに住みしっかり根をおろしている日本人の方々・・・数えたらきりがなく多くの人々に出会うことができました。

町が思っていたより安全で清潔。物価が安い。身近に海があり趣味のダイビングも楽しめる。一年中Tシャツで暮らせる気候。観光化されていない。

そして何よりもフィリピン人のおおらかさ(何かにつけて生真面目な日本人には、これに慣れるまで大変という声もあるようですが)

そんな理由からダバオは私の長期滞在の候補地の一つとなりました。

激戦地であったこの地に眠る、戦没者の墓参りをさせていただき、自分が生かされている幸せと感謝で終わった旅でもありました。

ダバオ視察会

関東支部 No.795 菊島 文子

<視察会実施日と参加者>

期間 2006年6月1日～7日(6泊7日)

参加者 (341)平野雅一 (697)新居幹雄
(810)田子初美 (838)松尾智恵子
(960)福井喜彦 (973)本橋 恵
(983)鈴木通弘 (795)菊島文子

<レポート>

4月のサロン会の情報交換の中でフィリピン、ダバオで長く支部長をされていた平野さんが、夢先案内人会NGO法人を立ち上げ、ダバオに行こうという話が出された。平野さんの話やビデオに引き込まれ、即参加が決まってしまった。現地集合現地解散、ホテルは一人部屋、清算は自分で、もちろん航空券の手配も自分で。南国の会に入っているが一度も参加したことはないし、まだ皆さんとも懇親会に出ても知っている方はいないので、毎回不安の中で参加していた私ははたして一人で出来るのか、英語も出来ないのにご夫婦参加が多いので一人になったらどうしようと心配だった。その後の懇親会で全員一人での参加を知り安心した。それから平野さんの懇切丁寧な案内がメールで送られてくるたび胸をワクワクしながらチケット探しをし、いよいよ6月1日出発日が来た。

鈴木さんは一足先にセブ入りして1日に合流、平野さんは先にダバオ入り、残り6人で出発、マニラ経由ダバオ行き、マニラ空港がややこしいが、これまた平野さんの書いたプリント片手に新居さんが先導してくれ助かった。ダバオ空港はさほど大きくなく平野さんが迎えにきてくれていてホットする。

ホテルは二手に分かれた。

APO Hotel 1泊 2900ペソ 朝食付、

BABOGO Hotel 1泊935ペソ 朝食なし

平野、福井、菊島は のホテルへ、APO Hotel から歩いて2、3分、夕食はAPO Hotelにて明日

からの打ち合わせをしながら、ゆっくりとする。

6月2日 本日のテーマ「長期滞在するための市内視察～住宅事情、物価事情、利便性」



長期滞在型(キッチン付き)ホテルの視察

ホテル9時発。両替をして各層住宅視察、長期滞在用ホテルを視察する。高級住宅街にはプール付、中間層住宅地は会員の方々が住んでいたりして周りは普通の一軒家、2階を借り切っていたりしていた方もいたそうだ。車がないと不便を感じたが静かで良いところだった。日本の寒さから真夏の暑さ、汗が吹き出る。手ぬぐいを首にまきつけフーフー言いながらショッピングセンターへ。野菜、魚は豊富だ。魚は海が近いので新鮮そのもの、鰯などは刺身にできそうだ。ドリアンパークでは南国の果物の王様といわれるドリアンを皆で試食、おいしかった!! 夕食はフィリピン日系人会会長と懇談。



フィリピン日系人会会長と会食

6月3日 「本日のテーマ「市場で買い物体験とフィリピン人との交流」

公設市場までジープニーの乗車体験、なかなか面白い。市場では明日の料理教室に使う食材を買う体験。フィリピン料理組、日本料理組、その他の組に別れ買い物、大根の小さいこと、全体に野菜は小さい。市場の中は思ったよりきれいだった。

買い物後、フィリピン人とピクニック（バーベキュー）を楽しんだ。平野さんと一緒に仕事をしているアナリさん（全行程面倒をみてくれた）のおばさんの家、車で1時間半ぐらい乗ったか、森の奥深い広々とした場所、この先のバーベキューの場所まで水牛のタクシーに揺らされながら袋がけされたマンゴー、バナナの木、ヤシの木、南国気分を満喫した。青いバナナを切り倒し蒸してついてココナッツと砂糖を合わせたお菓子作り、ココナッツジュースを飲み、バーベキューを食べ自然の中で幸せを感じる。



ピクニック（手前は採りたてのヤシ）

その後、福井さん、菊島はフィリピン人宅へホームステイに行く。残りの方々はホテルへ。2人別々の家だが近い。菊島はアナリさん宅、ココイという猿が迎えてくれ普段の家庭を垣間見る。家族は4人だがお手伝いさん、妹、甥、その他大勢面倒をみている。近くにはおばさんが一人暮らしなので食事を運んであげるとか。これがフィリピンの家族を大事にするところなのか。お風呂は便所と一緒に、バケツに水をはり汲み出しながら体にかける。

私の家は良かったのか、福井さんの家のご主人が音楽の先生、生徒が大勢きて音楽演奏会をしていた。食事は豚の丸焼きが出てもてなしてくれたらいい。部屋を案内されたところは便所、

驚いてそのまま居間に戻ったとか。寝る場所は台所の隅にマットレスをひきベッドを作ってくれたらいい。朝食にはカニが出たらいい。それも朝の散歩に出かけ、池を見に行ったら私たちが言うきたないドロの池にカニがいる。これを取ってきたらいい。新鮮なカニだと言われたが、あとの祭り、食べ終わってからの散歩、福井さんはお風呂も顔も洗わずの一日だったそう。きれいきたないは何を基準にすればいいのかその国々によって違う。この方々は精一杯もてなしてくれたのだ。感謝しなければいけない。

6月4日

私たち2人は昼ごろホテルに送ってもらった。皆さんは孤児院を訪問、子供たちは明るくがんばっていたようだ。午後フィリピン人宅にて料理教室、昨日の材料でお互いの国の料理を作った。日本からはちらし寿司を田子さん、松尾さんで作ってくれた。ドリアンケーキは珍しかった。マグロの刺身をカラマンシーという柑橘類をしぼった酢で合える。カルパッチョのようなもの。

意見交換では、日本人はフィリピン人から声をかけられると不安を感じるようなので顔があったら「ハーイ」と先に声をかけて欲しい。スティ先はガードマンがいる高級住宅は安全かもしれないが周りとの意思疎通がとれないさびしさがある。1軒家では困ったことなど助けてあげられる、声をかけて！！英語はお互いできないので心配しないこと。夜遅くまで楽しい夕食会ができました。



長期滞在についての日比意見交換会

6月5日 本日のテーマ「日本移民の足跡巡り」

日系2世のご老人をお迎えし、ミントル日本人墓地、スワン慰霊碑、タモガン溪谷へ。山田部隊の方が90歳を超えても日本から慰霊に来るとのこと。残っているひとはもうわずかな人数。まだまだこの溪谷にはたくさんの骨が拾われずに眠っている。2世の方に守られ私たちはローソク、線香をあげ合掌させていただきました。



山田部隊慰霊碑（多くの戦死者が眠る）

その後二手に分かれてゴルフ場視察に。平野さんの案内で福井、本橋、菊島は貧困集落視察と戦前の日本企業倉庫跡地を訪問した。麻を輸出していたので海の近くに倉庫があり、貧困集落地では子供たちは元気にスポーツをしており、人なつっこくカメラを向けると大勢カメラの前に群がり最後まで私たちについてきた。デジカメなのですぐに見せてあげると大喜び、どの国の子供も可愛い。昔の日本の子供もそうだったが近頃では警戒心が強くなってしまったのでさびしい。



海辺の貧困集落に住む子供達と・・・

6月6日 本日のテーマ「のんびり」

今日は一日のんびりとChemas Resortへ、透き通る海の水、さっそく中に入るが残念ながらここには魚がない。いてもめだかのような魚。今日は皆ゆっくりと寝そべりながら、いままでの忙しさから一息、本を読む人、昼寝をする人、人それぞれ。冷やしたマンゴーをほおぼり満足げな人、八口八口を食べる人、ゆっくりのんびり。

夕食はいままでお世話になったフィリピン人の方々とお別れ晚餐会、豚の丸焼き（レチョン）を囲みゲームを楽しみ、お互い別れを惜しんだ。

6月7日 平野さん、福井さん、鈴木さんを残し朝6時50分ホテル出発、空港へ

マニラ空港で4時間待ち。マッサージをするが町より高め。マッサージは毎日のように通いました。（1時間500円ぐらい）

平野さんには感謝、感謝。6泊は本当に短かったが内容が濃く充実した視察だった。行く先々平野さんを知っている人が声をかけてくる。行く前は誰でもフィリッピン、特にミンダナオ島というと怖いイメージがある。それに行くまではダバオというところも知らなかった。ホームステイに希望を出した私は「トイレが外ではイヤ」、夜明かりがないと思い「懐中電灯持参」失礼なことをしてしまった。（5月にコタキナバル クダアに泊まったため、それは大変だったので）イメージは全然違っていた。

コタキナバルよりきれいで安全、そして人々も優しく、皆帰るころにはこの地が好きになり、さっそく2人は来年2月から1年家を借りロングステイするそうだ。私も出来ればもう1, 2回訪れたい。南の会の望む地ではなかるうか。ぜひ足を運んでいただきたい。

福井さんも一人残り、ゆっくり歩き回り適地を探していらっしゃるでしょう。

バギオって???

バギオ支部 No.227 齋木 一

会員No.227 バギオ支部 齋木です。バギオについては、南国メール上では適宜情報連絡していますが、今回は、新しい会員の方々を対象にバギオについて記してみます。いわばバギオ基礎編です。以下項目を追って紹介します。

[バギオの地理]

バギオは海を隔てた日本の隣国フィリピンにあります。フィリピンは日本から北海道を除いたのと同じ位の面積で、7107の島々から成っています。その最大の島で首都マニラもあるルソン島北部に位置します。

マニラからは北へ約250km北部山岳地帯の海拔1500m前後の高原にあります。マニラからは空路で50分、陸路では6時間~7時間の距離です。マニラを東京と考えれば、丁度福島県の郡山市の様な場所です。

南は関東平野の様な広大な穀倉地帯を経てマニラに通じ、西は一拳に下れば1時間で南シナ海に面したリングエン湾沿いの海浜リゾートに直結します。東は北部山岳地帯の急峻に阻まれますが、北に向うボンドック街道を進めば、世界遺産で名高い棚田のあるバナウエ方面にも通じています。バギオは人口30万人の高原都市です。

[バギオの歴史]

フィリピンはその昔多くの部落単位の集団があるだけで、国家としての形態を整えたのは、マゼランによって発見され、スペインの統治政策によって成されました。フィリピンの国名もスペインの王族「フェリペ家」にその語源があります。そのスペインの350年近くに亘る統治に終止符が打たれたのは1898年の米西戦争でした。現在米国の州になっているテキサスやニューメキシコ、カルフォルニア等の領有権

を争い破れたスペインがたった2500万ドルでフィリピンを米国に売り渡しました。

米国は早速マニラに総督府を置きフィリピンの統治に乗り出しましたが、3~5月のマニラの暑さと湿気にほとんど参り、直ぐに夏の間の首都機能の移転先を探し始め発見したのが「バギオ」でした。当時現在のバギオの中心地辺りは数軒の原住民の家があり、数十人が住んでいただけだったと言われています。

1900年に始まった登山自動車道路建設は予想以上の難工事となり、最初6ヶ月間と見積もられた工事期間は大幅に延長されましたが1903年から日本人労働者も含め大量の外国人労働者を投入し、ようやく1905年に完成しました。その工事に参加した日本人は特に難工事の工区を受け持ち、累計2600名と言われる日本人労働者から700名もの犠牲者も出しました。完成した道路は工事監督者の名を取って「ケノンロード」と呼ばれています。日本人が完成させた道路だとも言われます。

登山道路の完成によって、バギオの町は急速に発展しました。道路の完成と同じ1905年にはフィリピンで最も古い歴史のあるゴルフ場「バギオカントリークラブ」もオープンしています。バギオは米国統治時代に開発された町なので、他のフィリピンの都市と違いコロニアル風の米国色の強い高原都市として発展しました。

1909年には市制も施行されました。米国統治時代に夏の間首都機能をバギオに移転させた事から未だに「サマーキャピタル」の尊称で呼ばれています。道路建設に従事した日本人の一部がその後バギオに残りバギオの町づくりの中心的な役割を果たしました。現在もバギオの中心地のセッションロードの両側の商店は戦前は殆どが日本人の経営だったそうです。

1941年12月8日に始まった太平洋戦争

開戦の日に日本軍航空機の爆撃を受け12月中に日本軍が占領し、その後昭和20年4月末迄日本の占領時代が約3年半続きました。その間昭和19年12月からはマレーの虎で有名な山下将軍の司令部がマニラからバギオに移り、昭和20年1月9日の米軍リングエン湾上陸後はバギオ陥落迄の約3ヵ月半に亘り米軍20万人、日本軍16万人と言う想像を絶する大部隊同士で太平洋戦争屈指の大激戦がバギオとその周辺で展開されました。

戦後は日本人は皆強制送還され、町からは全く日本人も日系人の姿も消えましたが、その後対日感情の好転を背景に日系人の社会復帰も進み、現在はバギオ周辺に確認されただけでも7千人近い日系人が生活しています。マニラからの避暑地としてだけでは無く、北部ルソンの中心都市として発展を続けています。

[バギオの気候]

バギオの名の由来は、現地語でBAGUIO = 暴風雨から来ています。その名の通り、台風シーズンには、影響を受けたり、場合によっては直撃される場合もあります。最近は何故か台風の襲来は少なめです。

1年は、乾期と雨期に分れます。何時から何時までと言う定説はありませんが、一般的には11月から翌年5月迄が乾期、6月から10月迄が雨期と分けている場合が多い様です。

フィリピン全体が熱帯地方の気候であるのに対し、バギオは海拔が1500m前後あることから、1年中気温が26度を上回る日は殆どありません。

乾期の期間を更に分けて、11月から2月迄を低温期、3月から5月迄を高温期とする場合もあります。高温期をバギオの夏と呼んでいます。

11月から2月迄は夜間の気温が低く、1月下旬から2月上旬には最低気温が10度を割る日も極く稀ですがあります。通常の場合乾期の低温期の最低気温は13度、最高気温は23度程度です。

3月から5月迄の高温期はフィリピン平野部

では高温・多湿の日が続きますが、バギオはこの時期でも最低気温16度、最高気温26度と凌ぎ易い日が多く、マニラの避暑地として賑わっています。学校の期末・夏休みのシーズンでもあり、高原は学生達の歓声で埋まります。

6月からの雨期の前半(6~7月)は、雨期でも陽性です。夕方から夜に掛けて1日1~2回の激しいシャワーがありますが、午前中は安定していて、ゴルフやテニスに支障ありません。ここ数年6月は少雨の傾向です。

8月になるとフィリピンのルソン島東部近海で台風が発生する様になり、台風の特性として熱帯性低気圧が台風が発達する迄の数日間、ルソン島近海で停滞します。その間南シナ海からの湿った空気が台風吹き込みますが、それが北ルソンの山岳に当たってバギオに雨を降らせま

す。台風が発生するとその影響で2~3日雨が続き、8月~9月上旬に掛けての時期は台風が連続して発生する事もあり、そんな時バギオは一週間以上雨の日が続く時もあります。台風が直撃する場合は別として、このような天候では、バギオは日本の梅雨の様な天気です。

バギオの名の由来の暴風雨 = 台風はここ数年バギオを直撃する事は殆どありませんでした。長雨が続く場合、バギオより、マニラと結ぶ低地地帯の出水による道路の冠水の方が問題です。

台風の影響を受ける8月から9月上旬を雨期中盤とすれば、9月下旬から10月の雨期後半は、また陽性に戻ります。ここ数年10月は雨期とは言えない好天が続いています。

雨期の期間の気温は、平均して、最低気温が16度、最高気温は24~25度程度です。

1年を通じて、最低気温が13~16度、最高気温が23~26度と年間の温度差が殆ど無いのがバギオの特徴です。

11月から2月迄の乾期前半はフィリピン全体が熱帯としての低温期で凌ぎ易いので、マニラからの避暑客も少なく、LSには好適でしょう。

6月から7月の日本の梅雨の時期、それに続く7月下旬から9月上旬の時期が日本からの避暑地としてどうかとよく聞かれますが、短期の

観光目的であれば、空路の不安定さや、道路事情から不向きと言わざるを得ませんが、LS候補地として考えるなら、東南アジアは概ねこの時期は雨期ですから、涼しいバギオは充分対象になると思います。

[交通事情]

バギオへの日本からのゲートウェイはマニラ国際空港です。マニラからは、空路と陸路を選択します。

空路の場合、マニラからは乾期は毎日、雨期は週4～5日、1日1便アシアンスピリット社が定期運航しています。マニラを朝9時台に出発し、バギオからは11時前後にマニラに向います。乗ってしまえばマニラから約50分でバギオです。料金は最近良く変わりますが、2006年6月時点では、片道3000ペソ程度です。朝便なので、日本発のどの時間帯でも当日の乗り継ぎが出来ず、マニラでの前泊が必要になります。

陸路の場合、一般的には、マニラ市内からのバス便になります。数社が運航していますが、マニラ空港に近く、便数も多いヴィクトリーライナー社が便利です。24時間、毎時か30分置きにバギオに向けてエアコン・高速バスがターミナルから発車します。マニラ市内の渋滞にもよりますが、6時間半から7時間でバギオに到着します。料金は2006年6月時点で片道400ペソ程度です。マニラ空港からバスターミナル迄はタクシーでの接続になります。時間は30分以内、料金は300ペソ以内です。

マニラ空港からタクシーをチャーターして直接バギオに向う方法もあります。空港内のタクシー会社のカウンターで料金は交渉になりますが、6月時点では、小型車で8000ペソ前後、バンタイプで1万ペソ位です。バギオ迄は途中の休憩時間にもよりますが、直行すれば6時間程度でバギオに到着します。

午前中の日本発の便であれば、陸路でその日の夜にはバギオに到着しますが、午後日本発の便の場合、バスでもタクシーでも夜行便となり、避けることが望ましいと日本大使館も注意を呼

びかけています。

陸路バスの場合、バギオ屈指の観光ポイント、ケノンロードは通りません。またタクシーの場合でも、ケノンロードは夜になってしまいますので、時間に余裕の有る場合は、マニラ前泊か、途中での1泊をお勧めします。

乾期の場合は、フライトスケジュールも安定している空路を選択されるといいでしょう。雨期の場合は、バギオ空港が有視界離着陸の山岳空港なので、フライトキャンセルも多く、陸路をお勧めします。

[バギオの特徴]

バギオは、他のフィリピンの都市とは随分違った印象を来られる方々に与える様です。皆さん異口同音に「フィリピンらしく無い」と言われます。

その最大の理由は、街並みでしょう。フィリピンの殆どの都市はスペイン統治時代に町の基礎が出来たので、欧風の教会を中心にスペインの影響を強く受けた街並みが多いのですが、バギオは米国の統治になってから開発された町なので、欧風建築は殆ど見られません。明るい、開放的な米国の影響を色濃く受けています。まだ百年の歴史しか無く、その間に60年前の太平洋戦争と、1990年の地震の2回の人災・天災によって町が新しく作り変えられた事に由来します。

日本人がフィリピンと言うと先ず想像するマニラの「汚い」「危ない」「煩い」と言う様な先入観とも全く無縁です。中心に広いバーナム公園があり、町全体が緑の色濃い松の大木に囲まれています。別名「パインシテイ」と呼ばれる謂れです。1年中気温の差が殆ど無く、芳しい花の匂いが絶える事はありません。特にバラは「バギオローズ」と名付けられる程バギオの代名詞になっています。高原野菜の宝庫でもあり、日本人入植者が手塩に掛けて育て、戦後はJAICAの指導も受け「フィリピンのサラダボール」とも称されています。白采、レタスから牛蒡、しいたけ迄日本で食卓を飾る野菜類は殆どバギオで手に入ります。

治安がいいと言うのもバギオならではでしょう。スリ、置き引き、こそ泥程度の犯罪は日本並にあるとしても、凶悪犯罪が地方紙の紙面を賑わせる事は殆ど無いと在バギオ8年の会友山田さんも太鼓判を押します。

[宿泊施設]

LS用として考えられるのは、ホテル、アパートメントホテル、トランシェントハウス(短期貸別荘)、一般住宅、マンション、アパート等があり、30万都市だけに豊富です。ホテルの長期割引制度が無い事や、一般住宅や、マンションが最低1年契約である事、それに施設的には温水シャワーの設備が完備している案件が少ない等問題点もあります。1ヶ月程度の場合はトランシェントハウスや、アパートメントハウスが適当でしょう。

ホテルは中級ホテルで1泊4千円程度です。アパートメントハウスや、トランシェントハウスは2寝室で1ヶ月4万円~6万円と聞いています。ホテルやその他の施設は雨期の間閑散期料金として大幅な値引きを行います。

[食事]

バギオは野菜の宝庫ですが、南シナ海の漁港から近いので海産物も豊富で安く手に入ります。カツオ、近海マグロ、さば等日本でお馴染みの顔も魚市場で良く見掛けます。最近出来たモール内の大型スーパーでは、サケ、カニ、伊勢海老の入荷もあり、食材のレパートリーは広がって来ています。肉類は日本とではマル一つ違う値段です。ビックリする値段です。豚肉、鶏肉は日本と遜色ない味が、日本以上でしょう。堅いと不評だった牛肉も最近豪州からの輸入品が増えました。8千人はいると言う韓国人の意外な効果です。

日本人在留者が少ないので、日本食レストランはそれ程はありません。それでも中心地SMモール内に「てりやきボーイ」「喜太郎」「東京・東京」「来來軒」と4軒もあります。日本人会会員の店「チコ」はランチが120円程度と日本人の溜まり場の存在です。

ホテルやレストランで飲んでも小瓶1本百円しない「サンミゲルビール」は有名ですが、それに増して安いのは「ジン」や「ラム」等で750mlの大瓶1本が百円そこそこからあります。韓国人効果として、最近韓国レストランがどんどん増えています。美味しい焼肉やキムチもあるそうですが、私の守備範囲では無いので余りご紹介は出来ません。町には他に「中華料理」「地中海料理」それに当然「フィリピン料理」の店も沢山あります。夕方から冷え込む高原の所為か東南アジア独特の「屋台」は殆ど見掛けません。

外食も楽しいでしょうが、バギオはその新鮮で安価な食材で自分で調理し、外国で日本料理で食卓を飾る楽しみがあります。

[バギオの観光案内]

バギオは、町として開発されてからまだ百年しか経過していないので、歴史的建造物や遺跡、史跡といった観光名所は余りありません。北部山岳地帯の海拔1500mの高地にあります。生活都市として発展した為に、自然との触れ合いと言った意味でも興味ある場所は少ない様に感じます。バギオは観光目的の場所と言うよりは、熱帯にありながら暑さ知らずの滞在型都市として考えるべきでしょう。

余り多くはありませんが、旅行会社は主催するシティツアーもありますので、その一部をご紹介します。

「ケノンロード」

日本人の間では、ベンゲット道路の名で知られています。1905年に5年間の難工事の未完成し、バギオの町が発展したスタートとなった全長32kmの登山道路です。1903年からは日本人労働者も参加し、延べ46カ国からの労働者が建設に参加しましたが、2600人とも言われる日本人労働者は特に難工事の区間を受け持ち、700人もの犠牲者も出しました。日本人が作った道路と言われる由縁です。ジグザグルートに登り切った場所には、日本労働者の犠牲と貢献を讃える展望台も設置されています。

「セッション・ロード」

バギオの町の中心で、ランドマークの大モールSMシティのあるアッパーセッションから、シティマーケットのあるロアーセッション迄の約500mの商店街。太平洋戦争直前の頃は両側の商店やカフェは殆どが日本人の経営だったと言われていました。

「マンション・ハウス」

バギオが「サマー・キャピタル」（夏の首都）と呼ばれるのに相応しい大統領別邸。現在も大統領がバギオを訪れる際には使われています。正面のゲートはバッキンガム宮殿を模したものととして有名です。



「キャンプ・ジョンハイ」

米国統治時代の米軍駐屯地、太平洋戦争中3年半に亘る日本軍占領時代は日本軍も使用しました。昭和20年9月3日、ここでマレーの虎山下将軍の降伏調印式も行われました。戦後は強制退去までの間の日本人収容所として利用された期間もありました。広大な敷地の大半は現在一般に解放され、公園、ホテル、2つのゴルフ場、バーベキューガーデン等で市民に親しまれています。

「フィリピン士官学校」

フィリピン唯一の士官学校で、陸軍、海軍、空軍、海兵4軍の士官候補生達がここに集い、学んでいます。卒業式には、大統領も列席し盛大な式典が挙行されます。歴代の多くの大統領がここを卒業しました。一般に解放される日には内部の見学も可能です。

「バーハム公園」

町の中心に広がる広大な敷地の公園。ポート池を中心に、陸上競技場、サッカーコート、テ

ニスコート、フラワーガーデン、児童遊園、遊歩道等が整備され、早朝からウォーキングや太極拳を楽しむ人達で賑います。

「大聖堂」

フィリピン各地で見られる欧風建築の教会とは違った、近代米国の教会を模した建物とステ



ンドグラスが有名です。毎日曜日には、英語、タガログ語、イルカノ語によるミサが行われています。

「バギオカントリークラブ」

ケノンロード開通と同時に1905年にオープンした、フィリピン最古のゴルフ場です。毎年11月から12月に掛けて隣接のキャンプジョンハイゴルフコースと2つのゴルフコースを舞台に繰り広げられる2千人近くが参加するコンペはギネスブックにも登録され、有名です。



「シティマーケット・公設市場」

ロアーセッション一帯に広がる生鮮食料品・生活用品主体の市場です。特に野菜市場は新鮮で大量・安価でマニラ方面からの観光客は必ずここに立ち寄ります。日本食の材料になる野菜類もここで殆ど手に入ります。

「日本庭園・英霊追悼碑」

バーハム公園に隣接し、やや高台になった場所にあります。太平洋戦争当時の犠牲者を追悼する英霊追悼碑も庭園内にあり、毎年2月には

慰霊祭が挙行されています。

「日本人墓地」

市営墓地の一角にあります。戦前の宰相田中儀一氏提供の基金から成る記念碑も日本人墓地入り口に設置されています。

「シスター海野・記念講堂」

日系人会館・アボン内にあります。太平洋戦争後極端に悪化した対日感情の対象にされる事を恐れ、北部山中深く隠遁生活を続けていた日系人を探し出し救済活動を行い「北ルソン比日友好協会」「比日基金」を立ち上げたシスター海野を記念する講堂です。

「在バギオ日本名誉総領事執務室」

同じくアボン内にあります。名誉総領事カルロス寺岡氏の執務室です。アボンに依頼すれば、見学可能です。

その他「マインズ・ビュー・パーク」「ライト・パーク」「ボタニカル・ガーデン」「ドミニカン・ヒル」「山岳民族博物館」「アシン温泉」等が観光コースに組み込まれています。

[バギオからの小旅行]

バギオは人口30万人を抱える都会ですが、矢張り1ヶ月以上の滞在となると気分転換も必要です。バギオから日帰りや1～2泊程度の小旅行の適地をご紹介します。

「アゴ - 」

バギオから車で約1時間下った南シナ海の面した古い町です。こじんまりした美しい教会と、フィリピンに何か問題があると涙を流すと言われている嘆きのマリア像が有名です。日本とは古くから関係が深く、最初に日本にキリスト教を伝道して有名なフランシスコ・ザビエルが日本への往還に立ち寄った港町であり、太閤秀吉のルソン壺の積出港でもありました。

「バウアン・ビーチ」

バギオから車で1時間半、シーズンにはオーストラリアからのサーファーで賑わう南シナ海のリゾートです。ホテル等の宿泊施設も完備し、バギオとビーチ双方を楽しむステイヤーを沢山見掛けます。

「サンファビアン・ビーチ」

私の住むパンガシナン州にあり、バギオからは車で1時間半の距離です。マルコス元大統領別邸をそのまま使うホテルもあり、太平洋戦争当時、昭和16年12月には、日本派遣軍司令官本間中将が、昭和20年1月には、マッカーサー米軍主力部隊が上陸した激戦地でもあります。

「ハンドレット・アイランド」

同じくパンガシナン州で、フィリピンの国立公園にも指定されているフィリピンの松島とも呼ばれる景勝地です。アイランドホッピングや小島に上陸してのバーベキューやシュノーケリングが楽しめます。バギオからは車で4時間の距離です。

「ポリナオ・ビーチ」

南シナ海のリングエン湾南端の古い港町で、歴史的な価値のある教会と美しいビーチが有名です。アイランドホッピングも楽しめます。バギオからは車で5時間、1泊コースです。

「ビガン」

世界遺産にも登録されている、スペイン統治時代の面影を色濃く残す古い街並みで有名です。太平洋戦争当時、町を焼いて撤退する様に命令された日本軍司令官が、抗命し、美しい街並みをそのままにして撤退していった美談もあります。

「バナウエの棚田」

バギオからは悪路を8時間のコースですから、雨期にはお薦め出来ませんが矢張り世界遺産に登録されている棚田があります。海拔千メートル以上の山間を数百年掛けて耕していった棚田は素晴らしい景観です。山岳少数民族の生活拠点が沢山残っています。

[ショッピング・お土産]

バギオの町自体は、まだ百年の歴史しかない新しい町ですが、その位置するルソン島北部山岳地帯は少数民族の居住地である事から、木彫り、手織りの壁掛けや、セーター等がお土産としてあります。近郊に銀山があるので、銀製品の装身具や食器も名産です。高原野菜や果物も

豊富で安価ですが、日本は生鮮食料品の持込を禁じているので、お土産としては持ち帰りません。滞在中に楽しめるといいですね。

ショッピングは、戦前日本人の経営の商店が軒を並べていたと言われるセッションロードや最近オープンした大型モールSMシティがあります。生鮮食料品や生活雑貨の宝庫、シティマーケットもお買い得商品で一杯です。

[バギオの物価]

フィリピン全体のLS候補地としての魅力の第一は「物価が安い」と言う事でしょう。バギオは海拔1500mの高地にあり、生活物資の大半はマニラ等から陸送されますから、フィリピンの中では物価は安い方には入りません。それでも日本に比べれば比較にならない安さです。

一例を挙げれば、お米10kg500円前後、野菜類1kg50円～、豚肉1kg(100gではない)300円、牛肉1kg400円程度です。タクシーは初乗り60円、町外れから中心地迄なら大体200円以内です。平均すれば在住者の感覚では日本の5分の一程度の生活費でしょう。

特に安いのは人件費で、メイドの月給は通いで6千円～、住み込みなら4千円～です。大工の日当は1日5百円、臨時雇いの運転手は日当が千二百円位でしょう。衣類は安い事もありますが、1年間の気温がほぼ一定しているので日本の様に四季折々の服装を用意せずとも間に合う事で日本とは想像出来ない安さに結果的になります。衣食住の住は、都会である事と、日本人が生活する基準の高さもあって、余り安さを感じられないでしょう。それでも、アパートメントホテルや1戸建てで月4～5万円で充分探せます。夫婦2人なら、住居費を別にすれば生活費は月10万円から15万円程度で、日本の避暑地の様な優雅な生活をエンジョイ出来ます。車があれば、その範囲内で運転手、メイド1～2名の海外ならではの生活レベルです。

[バギオでどう暮らす?]

バギオの特徴は、観光都市やリゾートではなく、「生活都市」である事です。それと雨期・乾期がはっきり分かれていて、それぞれの特徴を良く理解し、季節によって過ごし方を変える事がバギオ滞在の「極意」です。

ゴルフ場も2ヶ所だけで、他の地区迄足を伸ばそうと考えると車で3時間以上は掛ります。マリニリゾート迄も1時間半は掛り、雨期にはわざわざ山を降りてもいい条件とは限りません。雨期は静かに家で趣味の世界を楽しむとか、ボランティア活動が相応しいでしょう。乾期には思いっきり活動的にスポーツや小旅行、公園や家でのバーベキュー・パーティも乾期ならではのお楽しみです。11月から5月迄の乾期にバギオの行事も集中しています。10月にはスタートする世界一長いクリスマスは町全体がまるでクリスマスツリーの様子に輝いて見えます。一歩賑わいを外れると「満天の星」がクリスマス・イルミネーションです。大晦日のカウントダウンは米国流の花火を上げての大騒ぎに中国風の爆竹がさらに威勢をあげます。2月からの「フラワーフェスティバル」は3月迄続き、「日本月間」である事も加わり、毎日何かのイベントがあります。参加する事も可能です。町の人口と同じ30万人が例年道筋を埋める「フラワーパレード」に日本人会と一緒に参加し、パレードをすれば、沿道からは大きな拍手が迎えてくれます。

1年中ほぼ変わらぬ気温は健康にも快適で、新鮮な野菜や果物を食していれば、長生きする事請け合いです。安い生活費と、フィリピン人のホスピタリティの温かさにも困られて過す日々は、「余生」ではなく「第二の人生」です。ご夫妻や親しいお友達と海拔1500mの「雲上の天国・バギオ」での生活を満喫すれば、間違い無く「バギオって??」は「バギオって!!!!!!」に変わる事でしょう。

チェンマイ生活雑感

チェンマイ支部 No.54 山口 洋二

私は会員番号54番山口と申します。早いもので私がここチェンマイにロングステイをするようになりまして、1年8ヶ月が過ぎようとしております。

私は本会創設以来の会員ですが、当時はいまだ現役で海外旅行の経験はハワイに1度だけ業務にて2週間赴いたのみという極めて経験の乏しい会員であり、東京のサロン会に参加してはいましたがただひたすら情報を仕入れるのみで皆様の会話についていけず、常に寂しい思いをしておりました。ただ私が本会に入会しました目的は現役の間にロングステイする地の情報を収集するためであり、そして定年後のロングステイする地を決めることでありましたので寂しくはありましたがひたすら聞き役に専念いたしました。

その結果当初はフィリピンをと考えておりましたが、どうしても治安の不安定さ、かつ貧富の差等情報を収集するにつれ、よくない面が見えてきた折に、皆さんがチェンマイは良いと盛んに言い始め、かつ会う人全員が良い面ばかりいって悪い面はほとんど無いという、まるでこの世の楽園のような話をされていたので、そんなに皆さんが良いというのはよほどのことであろうと思い、私は一度も下見することなくチェンマイをロングステイの地と決め、その準備にかかりました。といいますのも私の住居は仙台にありましたがたまたま定年3年前から東京勤務となりましたので、定年後にO Aビザを取るためにタイ大使館やバンコク銀行新橋支店に手続きのため何度も東京に行くのは金銭的にも時間的にも大変ですので、最後の東京勤務の間を利用してO Aビザを取ろうと考えたからです。まあそういうわけで何とかビザを取り平成15年10月からここチェンマイでのロングステイを始めました。よって私

の場合はチェンマイにロングステイする前にあちこちと候補地を見て回り、比較してから決めたわけではなく、皆様のお話を伺ったのみで決めたため当初は、いや今でも他所と比較することができませんので何がどんなにいいのか皆目解かりませんでしたが、自分なりにここにロングステイをして感じましたよい点・悪い点に付きまして書いてみたいと思います。



よい点

- 1 治安が非常によく、私の体感では日本と全く変わりません。ただし窃盗や引ったくりが無いわけではありませんが、それは女性一人夜寂しい路地裏等を歩いたりすればであり、日本と同じように危険を避けるよう注意すれば全く安心です。
- 2 仏教国であり、非常に信心深くかつ親切で常に笑顔で外国人に接してくれる。とは言ってもやはり人によりますが全般的にはこのような人が非常に多い。
- 3 日本と比較して物価が非常に安い。特にゴルフ関係は特に安くメンバーになれば概ね日本の五分の一程度です。と言っても外国からの輸入品はむしろその本国より高い。特に乗用車は約2倍近くする。
- 4 気候がおおむね温暖で、一年中半袖で暮らすことができ、朝起きても寒いと感ずること

が無く、非常に気持ちよく目覚めることができる。高血圧の方には最高の地ではなかろうかと思います。

- 5 田舎でも無く・大都会でもない丁度中間的な適当な大きさを、退屈することなく文化的な生活を送ることができる。
- 6 国際空港がすぐ近くにあり、日本からの移動に便利がよい。
- 7 比較的日本人が多く、日本語に飢えることがなく、かつ日本人の友達を作るのが容易である。その分日本と同じ色々な軋轢が生ずることも多々ある。
- 8 国際観光都市のため、住民が外国人慣れしており、英語ができる方はタイ語ができなくても十分生活できる。また日本語ができるタイ人も多く、タイ語を習いたい場合個人教師を探すのは比較的容易であり、授業料も安い。
- 9 国際観光都市のため、外国人慣れしており、背中に視線を感じることが無い。ただしバンコクの下町ではこの限りではありませんでした。
- 10 両替所にて、両替したお金をごまかすことが無い。ただし用心に越したことはない。
- 11 日本では贅沢ができなくても、同じお金でここチェンマイでは比較的裕福な生活を送ることができる。このため余りお金の心配をしなくても良く、精神的に豊かに暮らせる
- 12 まあまあ規模の病院が4つも5つもあり、日本人の通訳がいる病院も2つある。

良くない点

- 1 英語かタイ語ができなければ、生活しづらい。当たり前です。しかし有り余る時間をつぶすためタイ語を勉強するよい機会ではある。
- 2 日本人が希望するような質の良い住居が極めて少ない。かつ日本人と見ると値段が跳ね上がる。これは日本人が安い安いといって気前よく値切ることなく大金を払うためでもある。
- 3 住まいに関しては、近所に遅くまで毎晩のように大音響を平気で出し、五月蠅くて寝付かれない所が多い。全般に昼夜を問わず音に

対し鈍感というかおおらかというか、無関心である。

- 4 歩道は人間が歩くところではない。一応歩道があるにはあるが歩いているのは日本人を含め外人ばかり、地元タイ人は原則として歩かない。このため穴があったり、歩道の真中に木や電話ボックスがあったり、人が歩くようにはなっていない。



- 5 タイの窓はアルミサッシであっても雨漏りがする。また部屋は立て付けが悪く隙間だらけでどこからとなく虫が入ってくる。又床は目分量にて仕上げるため平らでなく傾斜している。要するに余りこんなことは気にならないようでタイ人にとっては当たり前のことである。
- 6 部屋の電気製品、電気スイッチ、水道等備品はすぐ壊れる。要するに物が雑で信頼が置けない。
- 7 壁は薄く、隣の音が筒抜けである。当然此方の音も筒抜けである。

以上気の付くまま良い点・悪い点について私見を書きましたが、全般には住み易い所だろうと思います。ただし住居の選定は慎重の上にも慎重に。なお食事に関しましては書きませんでした。それは私が、タイの食事、特に匂いに弱くナンプラーやパクチが入った食べ物は全てだめという状況ですので、ここチェンマイにて安い現地材料を使って如何に日本料理を作るかといったことにチャレンジしております。

タイ料理がだめな人でもタイに住めることを実践し・証明しようとしているところです。何はともあれタイ料理が好きな方も、又嫌いな方も十分タイ・チェンマイに住むことが出来、かつ外国のため日本的な世間体を気にせず生活をエンジョイ出来ますので、関心のある方は安心しておいで下さればと思います。チェンマイ良いとこ一度はおいで。

はじめてのロングステイ

関東支部 No.945 坂口 致

ペナン島には2回の下見後の、初めてのしかも僅か3ヶ月の滞在で、体験記を書くように言われ、応諾するのは些か僭越であり、非常に躊躇しました。しかし敢えてこの機会にペナンでの生活の所感を述べさせていただくことにしました。

ランカウイ島仄かに

長い遮光カーテンを開いていた家内が、「わあ」と言う感嘆詞をのこしたまま、しばし絶句していた。マレーシアの国際的リゾート地として知られるペナン島タンジュン・ブнкаのゴプトン・オーキッド・ホテル18階での3ヶ月にわたるロングステイはこうして感動的な幕開けとなった。

現地のパンフレットには「breath-taking views」とある。蓋し当意即妙の表現である。このように部屋から真正面に海を臨めるのを、オーシャン・フロントと称されるそうである。フロントビューは水天髣髴、ニコンの9倍の双眼鏡にランカウ島がアングマン海に仄かに恰も陽炎のように浮かぶ。

ペナンへの道

いずれ迎える現役引退後の生活に漠たる設計はしていたものの、具体的にどの方向に進むかを決めたのは古希を過ぎてからである。

確たるロングステイの計画をもったのはいつ頃だったのか記憶は定かでないが、老後の生活の一環として、このロングステイの考えが世上普及するにつれ、私も大きな関心を持つようになった。

まずその準備に、長年の習性として、情報の収集、分析、統合から取りかかった。書店で展示されている関連図書は片っ端から購読し4年間で16冊を通読した。南国暮らしの会の存在

を知ったのは、その間である。意外にも、同ホテル滞在初期に会った会員は非常に少なく5、6名に過ぎなかった。

さてロングステイの滞在地をどこにするか約30都市から先ず親日的であり、英語が通じる国で、避寒に適し、しかも年金の予算内で生活できるところを条件として選択することにした。

書籍で得た情報を基に、3都市を実査するため家内と共にパックツアーで下見した。その結果、消去法でいけば、ペナンに絞られてきた。

ペナンは2回の下見で俯瞰的に同地を瞥見することが出来た。このように候補地の選択が終われば、あとは集中の問題である。そこで多くの図書に執筆されている木村義光さん、その他の方々のペナンに関する記事を熟読玩味し、実生活に万全を期するよう努めることにした。

そこから得られた多くの情報を幾何級数的に演繹することができる。一例が木村さんの「一つ楽しみは旅行だ。・・・(MATTAFEA)云々」とある。この5英文字をインターネット上で入力してみると、実に約555万件あることが分かる。このような膨大なデータになると、勿論絞り込む必要があるが、上から2番目に一つの該当項目がヒットした。限りなく広がる情報源である

現在、ロングステイ予備軍は多く、その数は計り知れない。内容も多種多様に亘っている。事実、交友範囲が私よりも桁違いに広い家内には、多くの友人たちからロングステイの話聞かせて欲しいとの要望があり、本人の勉強にもなっているようである。

家内は質問に対し、ペナンをロングステイの候補地として考えていけば、先ず多くの関係図書にある木村さん、その他の方々の記事をよく

読み、木村さんご夫妻のウェブサイトは特に参考になるので、これを活用し、下見をした上で、目的を持ったロングステイを実現するよう助言しているとの事である。なかにはアロワナのブリードに関する情報の収集に関心があり、助言を求められた夢多きシルバーエイジの友人夫妻もいたとの事であった。

ペナンでの生活

僅々3ヶ月の滞在では、活動範囲もその内容も自ずと限界がある。これまで2回のパッキングツアーにおいて、ガイドの時間に急き立てられて見学したところを、今回は時間をかけてじっくり見学、観察しようと思い、なるべく外出するように心がけた。それとできる限りマレーシアの人達と接するように努めた。その結果当初予想もしなかった多くの人達との友情を醸し出すことになった。

結婚式にも花嫁の家族から招待され、異文化の貴重な体験をすることができた。記念写真は、私も家内もそれぞれ花婿、花嫁の肩に手をかけるようにポーズを直された。添付の写真にあるように、緊張した、ぎこちないひとコマである。色は紫が多用され、印象的であった。吉事、慶事の時使うそうである。後日、ほかの結婚式にも招待されたが、すでに貴重な体験をしたので、この方は拝辞した。



今回のロングステイの目的にドイツ海軍の潜水艦基地の跡を訪ねることもあったが、帰国数日前にテロップ・バハン在住の78歳の元小学校教師からの間接情報を得たに止まった。

ランカウイ島にて

今回はペナンに3カ月間の継続滞在であったが、今回はランカウイにもひと月以上の滞在を予定している。そのため3月に同島の俯瞰的な観察のため、また4月は具体的な宿泊先の選択を目的とした、それぞれ2泊3日の短期間の下見をした。第2回目はロングステイの下調べのための旅であったので、クア地区の目的に合う主だった5つのホテルを巡り、宿泊料の交渉と、部屋の実情を見ることにした。南端のシェラトン・ベルナダ・リゾートではNHKのテレビも見ることが出来たが、宿泊料金が予算を大幅に超過した。他の4つのホテルで



はNHKの海外向けテレビ放送の受信設備もない。これらのホテルに限って言えば、今浦島にならないためにも日本の海外放送を受信できる高感度の短波放送受信機は必携品と思う。海面して建つホテルを最適候補に位置づけ、オフシーズンの見積りを求めた。想定より遥かに安い料金であったので、念のため一筆もらってきた。

諸事満足のペナンのコプトン・ホテルでの生活で唯一の欠点は、ホテルの部屋からのEメールは電話回線しか使えないことであった。此処もまた同じである。日本では光ファイバーへの移行期にあるのに、その不便さには隔世の感があった。3月のランカウイへの旅は合計42246円であり、4月のそれは36208円を要した。

マレーシア航空ペナン支店にて

帰りの航空券の再確認のため訪ねたマレーシア航空ペナン支店でのことに触れておきたい。同社のディスカバー マレーシア パスというUS\$99の格安周遊券のほかに、制限重量についても質した。航空券記載の通り20キロま

でとの回答であった。3ヶ月の高いオープンチケットを購入した者への優遇措置はないのか。長期滞在すれば勢い荷物も増える、例外規定があるのではないかと疑問を投げかけたところ、23キロまでは容認可との言質をえた。

出発当日の検量で9キロ超過と言われ、その分の料金を請求された。ペナン支店で確認した特例を援用し、最終的には6キロを免除し、3キロの超過分の支払いで済んだ。

英語所感

ロングステイの必要条件として、英語、パソコンそれに車と言われている。日本で英会話学校に通うとしても、1歩教室を出れば日本語である。ロングステイは英語修得にはまたとない好機である。倦まず弛まず継続的に能力の向上に努めたいものである。

昔ソ連のモロトフ外相がブローケンイングリッシュ イズ インターナショナルイングリッシュと言ったことがある。ネーティブスピーカはグローバルイングリッシュと言っている。という

ことは、発音のみならず、文法からも多少はずれていても、あまり気にすることはないと解釈している。

ロングステイでの経費

家内はこの度のロングステイでは、次回に備えて経費を丹念に記帳していた。3ヶ月間の総費用は換算率RM1を30円として、邦貨換算で947574円であった。

雑考

嘗て、国鉄の十河総裁が「20歳の青年でも夢のないものはジイサマであり、90歳になっても夢を持っている人は青年である」と言ったことがある。いつまでも夢多き青年であれば幸せである。

終りに、ロングステイの方々からいろいろご指導、ご助言をいただきました。ここに深甚の謝意を表します。

セブ在住1年生

セブ支部 No.646 渡辺 徹

昨年8月にCEBU市のCEBU BUSINESS PARK, AYALA CONDOMINIUM, PARK TOWER ONEに入居しました。只今セブ在住1年生をやっているところです。ちなみにセブビジネスパークとはゴルフ場跡地をアヤラ財閥が再開発して(再開発途上)、緑と散歩道と近代的ビルが並存している地域です。

1. コンドミニアムの選定

PARK TOWER ONEの選定理由は、

- (1) 治安が良い、パーク内は朝の女性1人の散歩も可能(現実に1人だけの女性散歩を見かけます)
- (2) ビジネスパーク内は緑が多く建物も近代的できれい
- (3) ビジネスパーク内に巨大ショッピングモ-

ール“アヤラ”や銀行やゴルフ練習場やスポーツクラブ等があり生活と運動に便利(すべて徒歩圏内)

- (4) 毎朝のコーヒーミーティングのスターバックスへ歩いていける
- (5) コンドミニアムの前でタクシーを拾いやすい、といったところです。

これらの選定理由の裏を返せばセブ市は犯罪が多く、一般の街並みは汚く、大気汚染はもの凄く、街の一般小売店は極小規模である、ということです。セブ市の欠点、短所を踏まえ、それらを比較的緩和できるところを選定しました。2ベッドルームで3万ペソ・月(64500円 便宜上1円=0.465ペソ換算、以下同じ)(8月に値上げがありそうです)、これに管理費、光熱水料、通信費等合わせると、部屋周り

だけで10万円・月程度です。

このコンドミニアムはセブ市の中で最高級の部類に入りますが、欠陥は多数。

- (1) 入居当時ゴキブリ、蟻の大パレード(色々工夫し今はいません)
- (2) 上の階の漏水が原因でシャワールームの天井の木材が腐って虫が大発生、虫の糞が天井から降ってくる(改善しました)。
- (3) キッチンに換気扇が2つ付いているのですが、その1つは排気管が天井裏止まり、排気や黒い煤が天井裏をぐるぐる回っているだけ。従って排気扇が止まっている時は煤が降ってくる(これも対策済み)。
- (4) 比較的空気のきれいな地域ではあるが、街全体の大気汚染のため床や家具がすぐに真っ黒になる。雑巾を洗った水はジブニーの排気ガスの黒色です(これの対策は個人では無理)。
- (5) メイドに洗濯させる習慣から電気洗濯機の置き場が無い(1つのシャワールームに設置、従ってシャワールームは残りの1つしか使えない)。

このように不満が多いセブですが、私はセブに魅せられてやってきました(スキューバダイビングとゴルフを両手に)のでその土地の欠点は克服すべきものとして対処しています。

2. 適地選定

これからロングステイの場所をお探しになる方は、魅せられた土地をお選びください、そこでの生活がイメージでき、その生活が楽しく好ましいものと想像できたら、そこがその方の適地ということでしょう。よく各候補地について要素別に(たとえば物価、天候、医療水準、日本からの距離、英語の通じ方等)点数を付け比較している表を見かけますが、私はそういう表における総合点の意味は薄いと思っています。個人個人によって各項目のウエイトが異なるので、仮にそういう表を使うのであれば、自分で各項目のウエイトをきちんと判断してからにすべきです。言い換えれば、何に自分が重点を置くかということです。自分の物差しで土地を選

ぶのであって、他人の物差しで選んだら失敗の確率が増します。自分は何をしていたら楽しいのか、どういう生活をしたいのか、が第一です。

3. 視察、第一回セブ訪問

退職を3ヵ月後に控えた昨年2005年1月、10日間の予定で初めてセブを訪問しました。到着日に南の会の皆様に歓迎会をやっていただき、ブリーフィングを受けました。翌日、鶴岡副支部長のご指導で携帯電話を購入。両替所、レストラン、レストランのメニュー、マッサージ店、買い物のポイント、主だったホテル、カラオケ、コンドミニアム等々も教えて頂いたのが昨日のように思います。南の会の夕食会の無い時は自分1人でフィリピンレストランへ行きメニューを勉強しました。勉強というよりは自分の口に合った酒のつまみを探したということですが。最近ではセブ在住の方々のホームページにマッサージ店やカラオケの紹介も載っていますので、そこを訪ね、店の人に料金、システムを確認したりしました。私の経験ではセブのホームページ情報は概ね正確で役立ちます。タクシーを3時間雇いセブ市の観光ポイントを見て回ったり、同じくタクシー3時間でホテルとコンドミニアムを訪ね料金を聴いたり部屋を見せてもらったりもしました(当時1時間250~300ペソ(540~645円)、平地だけだと安く、山登りがあると高くなる)。スキューバダイビングは鶴岡副支部長に無理なお願いを聞いてもらい2回お付き合いいいただき、1回は自分1人で潜りに行きました。40~50分でダイビングショップに着くし、いろんな潜水ポイントがあり大満足でした(ボートで3本潜って1万円位)。ゴルフについては、アジアのいろんな所でやったことがあるし、マニラ周辺でも何回かプレイしているので、この時は調査省略としました。

4. ホテル暮らし

3月末に会社を退職し、4月末~7月はゴールデンピーク(当時1泊1400ペソ(3010円))というホテルで暮らしました。ゴール

デンピークの選定理由は、料金が比較的安く、歩いてアヤラに行ける、ということでした。アヤラへは、朝のスターバックスミーティング、ゴルフ練習場、インターネットショップ、買い物、CITIBANK等々1日に複数回往復することがよくあるので、徒歩往復可能ということが決定要素になりました。リッチモンドホテルとキャッスルピークホテルもアヤラに近いのですが、道路に砂埃が舞い上がり、排気ガス臭くて歩けませんでした。ゴールドンピークとアヤラの間は裏道があり、あまり臭い思いをせずにすみます。

6月はじめからアルタヴィスタゴルフの準会員になり、掲示期間、インタビューを経て9月からメンバーになりました。手帳を見ると6月～8月は1週間に6回プレイという週が結構あります。我ながらあの頃は体力と好奇心が旺盛だったんだなと感心します（今は週2～3回）。

5. コンドミニアム入居

コンドミニアムは8月からの契約。住居の賃貸契約、電話の名義変更のために弁護士事務所に何遍も出向きました。PLDT（電話会社）へは名義変更、ADSLの申し込み手続き。これらの他、ケーブルテレビ、電力公社等の手続きはコンドミニアムの事務方でやってくれました。一応家具付きなのですが、自分で買い揃えなくてはならないものが多数ありました。掃除機、洗濯機、電子レンジ、トースター、アイロン、扇風機、テレビ（寝室用）、DVDプレーヤー、CDプレーヤー、パソコン、パソコンテーブル、デスク、電気スタンド、湯沸しポット等々電気製品が主ですが、中国製やマレーシア製が入っていて安価です。その代わり掃除機は音がうるさいとかの難はありますが、機能は果たしてくれます。

6. 普段の生活

潜りにも行かない、ゴルフにも行かない日の過ごし方ですが、スターバックスミーティング、太極拳、気功、柔軟体操、セブ語の勉強、読書、昼寝、株式相場WATCH、天候観測（外の天気と衛星写真と天気図を見比べる）、買い物、炊

事、洗濯、掃除等いくらでもあり、退屈することはありません。何か疑問が生じたらインターネットで検索するというのも楽しいものです。夜は赤提灯で一杯やり、その後カラオケにセブ語の勉強に繰り出すのも有意義です。最近はピリヤードも始めました。

7. 海外生活のメリット

日本脱出のメリットで最大のものは、働いてない人への偏見が日本に比べ小さいということでしょう。私は56歳で退職してセブへやってきましたが、日本では散々“まだ若いのに働かないのはもったいない”という言葉が聴かされました。私が“潜るためとゴルフのためにセブにやって来た”と言うと、セブの人は“すばらしい。うらやましい”と当たり前のことという受け止めです。スーパーマーケットで弁護士夫人と顔を合わせました。彼女は、私のかごの中にビールが入っているのを見て“夕方、夕日を眺めながらビールを飲むのはリタイアした人の特権だものね。私はまだまだ働かなければならないけど。”〔彼女は夫の弁護士と共に弁護士事務所勤務〕と本当にうらやましそうな顔でした。日本人以外の多くの人にとってリタイアはまさに“HAPPY RETIREMENT”そのものなのです。

8. フィリピンのイメージ

フィリピンで犯罪が起き、それが日本で大きく報道されると“またフィリピンのイメージが下がる”と心配される方が多くおられます。私は全く気にしません。犯罪が起こったのは事実だし、犯罪が多いのも事実だからです。

“貧困も犯罪も多く存在している”とありのままに見て理解してもらい、それなりの準備、対策、心構えを携えてフィリピンを訪問して頂く方が楽しく比較的安全に過ごしていただけたらと思っています。

外務省の渡航情報（危険情報）でもセブを含むビサヤ地区は“十分注意してください”となっています。危険情報、犯罪情報はできるだけ皆さんに知っていただき、注意をしてお越し頂き

たい、というのが私の考えです。

9. セブの良い所、悪い所

私は毎月“旅行のメーリングリスト”に“* *月のセブ”を投稿しております。私はセブの良いところはあまり書きません。人それぞれ好きなこと、嗜好が異なるので、良い所、気に入ったところは自分で見つけるしかない、自分で作っ

ていくしかない、と思っています。楽しいことはセブ在住の方のホームページでも情報入手できますし。反対にセブの不便なこと、困ったことはどんどん書きます。不便を覚悟してもらう。安全を心がけてもらうためです。幸いセブへは訪問者が次から次に来られますので、魅力を書くより不便情報、危険情報の方が有益であろうと思っています。

チェンマイでのロングステイ体験記

関東支部 No.900 島林 健二

昨年12月15日より本年3月13日までの3ヶ月間、チェンマイにロングステイしました。過去には2003年1月から2月までの1ヶ月間をカメルン（マレーシア）で、2003年12月から2004年1月までの1ヶ月間をチェンマイでステイの経験がありますが、南の会に入会してからのロングステイは今回が初めてでした。滞在期間の長さの差もありますが、過去2回はいずれもいくつかのホテルを渡り歩いての1ヶ月であったのに対し、今回のステイはコンドミニアムを借りての3ヶ月のシーズンステイとなったことをはじめとして、前回とは全く異なる中身の充実した有意義なものになりました。

その理由は以下に述べる内容から納得していただけたと思います。今回のステイに関し幼稚な体験ではありますが、ビギナーに少しでも参考になる点があれば幸いに思います。自分にとって今回のステイは特別な印象を持ただけに、この思いを何年も何度も持続したいと念じつつ以下体験のいくつかを記したいと思います。

1. タイ語勉強の話

居住するコンドミニアムも決まり、これからチェンマイでの生活が始まるに当たってさて何をしようかと思案する。日本でチェンマイ行きを決心したときから、これだけはしたいという

強い希望もなく、とにかくのんびりしたいというのが第一義だったので、とりたてて慌てるということもなく、これがロングステイと割り切り、ゆっくり構えていたところ、コンドミニアムの近くにあるYMCAで初心者対象のタイ語教室があることを聞き、ちょうど本年1月からの開講に申し込むことが出来た。

家内は会話クラスの初級を、自分は読み書きクラスの初級を受講した。いずれのクラスも1日2時間、月、水、金の週3日、5週間で計30時間の授業です。自分のクラスの先生はチェンマイ大学の女子学生、生徒は日本5（男4、女1）、仏1、中国1、米1、印1、マレーシア(?)1の計10人。自分だけが高齢に属し他は20～40代。

授業は日本での「アヒルのア、イヌのイ、・・・」と同じように、“コーカイ”と呼ばれる絵入りの子音字表を見て素早く声に出して言えるまで何度も言われる。中学1年生で初めて英単語を覚えるときに行ったと同様まずはとにかく覚えることに必死だった。授業の基本は英語ベースの説明で時折タイ語も入り、理解度は不十分だったが、これだけとは思ひ、修了時には44文字の上記“コーカイ”は暗記した。帰国した今相当忘れてしまっているので次回訪問時まで復習しておきたいと思っている。

とにかくこの講習で会話は全く駄目だったが、

街に出て街頭の標識、店の看板を見て意味はわからなくても読めるようになったことは大きな収穫であり、喜びだった。外出時には看板の文字をメモし、帰宅してから辞書で意味を調べるといのが日課になった。15回の授業のうち中国とインド人、それに日本人の3人は半分くらいの出席率で皆出席は自分を含め3名だった。

講習は1/9から2/10の間の15回で、その費用は、読み書きクラスが入会金、テキスト代含め2,050バーツ、会話クラスが同じく1,770バーツだった。日本でYMCAなどと比べると相当安いのではないかと思う。

そしてもう一つ、帰国まで3週間くらいを残す頃、ゴルフから帰るソントウの中で役員の橋本さんから、YMCAにタイ語特別教室をお願いするので受けないかと提案があり、YMCA側が開講OKとなったのでこれを受講した。2時間/日×5日=10時間の授業。受講生は南の会のメンバーのみで全9名(橋本夫妻、高田夫妻、田中夫妻、石川夫人、鈴木氏、自分)。買物、レストラン、観光時の簡単な会話を軸に発音に苦労しながらも気の置けない仲間内での楽しい10時間だった。

これから活用しようと張り切っているうちにそれぞれ各人帰国の時期となり、もう少し早くから始まっていれば日常生活でもっと使えたと思うがこれも今後の訪問で効果を発揮してくれることだろう。こちらの費用は1人1,050バーツ。YMCAには藤井さんという日本人女性がスタッフとして働いており、いろいろお世話になりました。

2. 交通システムのこと

チェンマイ市は地図を見てわかるように、ほぼ1.5km×1.5km四方のお堀に囲まれた旧市街を中心にしてそれを囲む周辺地域に市の主要部分が含まれている。すなわち旧市街を中心にして縦横それぞれ5kmの範囲内に市の主要部分が含まれるといつてよい。空港でさえ旧市街の南西部の堀から徒歩で30分くらいの所にある。

ここで面白いと思ったのは、四辺形のお堀を

挟んで両側に道路がありそれぞれが一方通行になっていて、信号があるのは四つのコーナー部だけである。それ以外の交差点では信号がなく、この周回道路に直交する道路からは交差点を直進出来ないようになっている。

すなわちこうした交差点では、直交道路からお堀の周回道路を横切って直進前方の場所に行くには、一旦交差点で左折して周回道路に入り、次いでお堀にかかる道路(橋)でUターンし反対方向の周回道路に入って元の交差点に来て左折するという、走行距離面ではロスになるが、交差点での信号停止がなく、従ってその分排ガスや騒音が軽減されると共に、渋滞や事故も大幅に少なくなることを実感した。

現にステイ中事故らしい事故は見なかったし勿論遭遇もせず、これは特殊な地形、環境に適用できるシステムであり日本では無理だが、実によく考えたシステムであると思う。ただし歩行者の立場からすると、歩行者信号に慣れた我々には当初この道路を横断するのは大変な神経を使わねばならずとりわけチェンマイラム病院前の道路を横切るのはひやひやものだった。特に歩行者とバイク等との接触事故には気をつけねばならないと思った。

3. 生活費のこと

事前調査そして2年前のステイ時でもわかっていたが、チェンマイ(タイ)は物価が安いというのが魅力であり、それがロングステイ先として注目される一つになっている訳だが、3ヶ月の総経費は航空運賃を別にして、60万円くらいであった(3泊4日でプーケットに行った航空運賃、ホテル代は含まず)。これはコンドミニアムの賃貸料(水道、光熱費を含め自分の場合は約8,000バーツ/月)を含めてであり、3ヶ月も滞在すれば航空運賃を含めても日本での生活費と比べて安いといえるだろう。もっとも個人差はあると思うが。

ただしタイのバーツも強くなり、バーツ/円交換レートは、2年前は平均36.3バーツ/100円であったのに対し、今回は平均33.4バーツ/100円と2年で9%のバーツ高となっていた。

もっともコンドミニアムの内容や生活レベルの
よって多少の差異はあるだろうが、物価安とい
う魅力に変わりはない。

4. 病院のこと

海外に行くとき長期でない場合でも、怪我や病
気の場合どうすればよいかは大きな関心事であ
る。チェンマイにはチェンマイ大学の関連もあ
って大きな病院が多くある。日本からの滞在客
に備えてと思われるが日本語の話せる医師が常
駐している病院もあると聞き、その点は安心し
ていたし、病院にお世話になったという方の体
験談もよく聞いた。

我々の場合、病院にはお世話にならないだろ
うと思っていたが、自分は下手なゴルフのやり
すぎから腰を痛め思いもかけず病院に行くこと
になった。問診と投薬の一回きりだったが、日
本の病院と比較すると患者は少なく、静かで待
合室は豪華、待ち時間も短く、費用面では保険
証のない一見の患者でも自分の場合一回の診療
で1,200バーツと割安なものにはびっくりした。

一方、家内の場合は病気ではなく、ほくろの
除去としみとり（こちらでは流行りになってい
るよう）の治療をした。レーザー光によるほく
ろの除去と色素処理によるしみとりの処置は約
30分くらいで終了。費用は3,600バーツと日本
での治療に比べると相当安いとの家内の感想で
あった。

このとき付き添いで行った自分は治療室に同
席してもいいということでベッドの横で治療の
状況を目のあたりにした。ただ医師と看護婦が
世間話や談笑をしながら家内の治療をしてい
るのには驚きもし、内心不安と不満を感じたが、
結果としてはまずまずといったところだろうか。
看護婦やスタッフも十分な数がおられるように
見えた。

5. ミャンマーへの一時出国のこと

今回のステイは当初から90日の滞在の予定
だったので、出発前に日本で60日の観光ビザ
を申請し、残り30日については現地で再延長
の申請をする予定でいた。チェンマイの領事館

で申請する方法もあるが、60日目に一旦外国
に出国する方法を経験者から聞き、観光も兼ね
てミャンマーに一時出国してビザを取得する方
法を選択した。

長期滞在者が滞在延長時に使う極々あたりま
えになっている方法（もっともこの方法も昨今
ではいろんな事情からシビアになっていると
こと）でK.K.トラベル社の数あるツアーの一つ
になっている。日帰りでガイドがつき、トライ
アングルなどの観光付きで9人乗りのミニバス
で一人1,000バーツ。しかも合法かどうかは不
明なるも、小船に乗ってメコン川の支流を渡り
ラオスに30分位上陸できたことは貴重な経験
であった。小船は300バーツ、ラオス上陸費用
は20バーツであった。そしてビザ申請の本命で
あるミャンマーへの一時出国の時間は5分もな
かったように思う。ガイドに言われるままに入
出国カードに必要事項を記入し、パスポートを
提示してあつという間に目的は達成された。ミ
ャンマーの入出国料は一人250バーツでチェン
マイ領事館での申請費用より安い。

6. 趣味のこと

90日間も異国の地にいて何をするか、これ
は行く前からの気がかりな点ではあった。しか
し日本を離れれば自由気ままに過ごしたいと
いう気持ちがあったので、行けば何とかなさ
と軽く考えていた。

勿論日本よりゴルフ道具は持参し、日本より
遥かに安くプレイできることを楽しみにして
いた。到着後しばらくはどうしたらゴルフが
出来るのかがわからず、また恥ずかしいくらい
の腕前だったのでゴルフをやりたいと言いつ
ても、それがきっかけみたいになって前述の
タイ語教室に通った訳だが、現地でのサロン
会を通じて伊沢支部長や今野さん、橋本さん
、高田さん、石川さん達のお誘いで滞在期
間の後半は随分ゴルフに同伴させてもら
った。

5時半起床、プレイ終了後正午前後には帰
宅という極めて効率的な時間の使い方を体感
した。アクセスの時間もソントウで片道20
分弱という立地のよさ、そして朝もやの中
を打つ第一打の

感触はなんともいえなかった。多いときには週3回も通い、そして下手なフォームが災いしたのか4．項にも書いたとおり腰を痛め病院通いをする羽目になってしまった。

一方家内はゴルフをしないので自分がゴルフをする間、どう過ごすかが一つの課題となったが、古くからの友人との話の中でパッチワークが話題になり、それに興味をお持ちの元南の会会員の方との出会いがあって一緒にパッチワークをする楽しみを得たことは大きな収穫だった。週に一回その方のコンドミニウムを訪れ、ワローロットで安い素材を買い込みいろんな作品を作ることにはすっかりはまり込み、帰国してからもその意気込みは継続している状態である。

7．ひな祭りパーティ

南の会会員がコンドミニウム探しやツアーなど何かとお世話になっている、現地の旅行代理店であるK.K.トラベル社の主催で、折しも3月3日にひな祭りパーティがアマリリンカムホテルで行われた。チェンマイにあるいくつかのロングスティクラブが一堂に会するのは初めての企画だったようで、ロングステイの日本人ばかり100人近くが飲食、会話を共にすることが出来、ここは本当にチェンマイかと思うほど和気藹々のとても楽しいひと時だった。

夕方になるとひととき賑やかな人通りになるファイケーオ通りを、ロングドレス、ストールで正装した貴婦人が何人も会場のホテルに向かって歩く姿はチェンマイ人の眼にはどう映ったでしょうか。ちなみに家内も急遽仕立てた洋服を着用して出席しました。K.K.トラベルのジョンさん、リンカムホテルの松下さんには仕事とはいえ感謝、感謝でした。伊沢支部長や東海支部長(当時)の横井さんたちの踊りは見もので、歌あり、踊りありの大盛り上がりでチェンマイにいることを忘れるほどの貴重な一こまになりました。

8．南の会一泊旅行

1/28、29の両日、チェンマイ支部の一泊旅行が催されました。今まで支部として大人

数でのしかも一泊旅行はなかったそうで、今年はチェンマイのステイ者が多く支部の役員さんのご尽力で実現する運びになったようだ。参加者28名、4台のミニワゴン車に分乗して北タイのチェンライへ向かう。

途中白亜のワットロイクンを見物、昼前に今夜のホテル、リムコックリゾートホテルにチェックインする。昼食後はお茶の産地ドイメーサロンへ、このあたりの住人は中国系が多く、商店の看板には漢字が目立つ。その後さらに山道を登り、標高1500mの山中に聳え立つシーナカリン仏塔を見物、この仏塔は1966年建立で現国王の母親に献上された仏塔とか、この後ホテルに帰着する。ホテルはこのあたりで唯一の大規模リゾートホテルだが、1/28、29日は中国の大晦日、元旦にあたり、ホテルも満室とか。

夜はチェンライのナイトバザールを見物、チェンマイのそれとは若干雰囲気異なる。翌日はメーファルアン庭園を見物、次いで徒歩数分の現国王の母、皇太后が自分の家として建てられたメルーフアラ宮殿を見物する。先ほど見た庭園はこの宮殿の庭になる。

この後山岳民族村(首長族、アカ族、ラフ族)へ。首長族では未だに幼児(女兒)の頃から首にリングを付けさせられる習慣に疑問を禁じえない。この後はひたすら帰路につくが、全員無事に楽しい充実した2日間を過ごせたことは大きな成果だった。2日間28人が同一行動をとり心置きなく共通の時間をもてたことはサロン会とはまた異なる懇親の場を持つことが出来、この企画を頂いた役員の方々に心より感謝したいと思います。

以上今回のステイで経験したこと、感じたことを記しましたが、沢山の会員の方と親しくお付き合いをしていただき、90日の滞在があっという間に過ぎ去ったと思うほどの楽しいものになりました。

素人のそして幼稚な文章で失礼かと思いますが、入会後のはじめてのステイの体験を記しました。伊沢支部長はじめ現地ですいろいろお世話いただいた方々に心よりお礼を申し上げます。

平成17年、26日間の海外調査

九州支部 No.901 片山 龍朗

曇りの日は良い天気・・・タイランド

キラキラ照り続ける太陽の下は平均気温32～34度もある。タイランドの晴天、青空は良い天気なのであるが喜ばれない。仕事、中でも野外仕事は勿論、ゴルフには曇りの日が喜ばれ最適日である。このような気候環境では午前中早めか夕方からの仕事（夜の露店等）が多い。ゴルフプレーは休み無しでプレーする。朝の挨拶、雲の多い日は「良い天気ですネ」スタートは7時、8時、昼過ぎ午後1時頃には上がる。これが青々とした晴れの日にも当たると暑さどころではない「熱さ」である。水は頻繁に補給を必要とする、放って置くと脱水症状でゴルフどころではない。

このような状況の下でもタイ国は大好きである。第一プレー代が安い、優しい笑顔、言葉のソフトな響きの若いキャディーさん、それにグリーンが素晴らしい。しかし問題もある。池の多いことが嫌で苦手である。池の多さは半端ではない、左に右に前にである。何とか池ポチャにならない様に集中するのだが・・・。集中すればする程よく入る。

その時の気分は何ともいいがたく、悔しさと諦めで、サヨナラグッバイである。多い人で10個、15個、上手な人（シングルプレーヤー）でも2～3個は当たり前である。

新しい玉を使いたいのだが勿体ないので古い玉を使う。プレーは成績だけでない。キャディーさんとの会話の楽しさは結果以上である。それが仏教国タイである。

さて、此の度の目的は海外で暮らしているリタイヤの方々の調査（ロングステイ）及び大学校友会、神奈川の津久井支部、三重支部、佐世保支部合同でバンコク支部総会へ激励に行ったことである。

タイ観光、訪問は今年で11年連続、ゴルフと

タイマッサージ中心、不思議と私の周りにはタイ愛好者が多く居て、一度訪れるとまた行きたくなる。季節が冬になると温かい（暑い）所を求める、無いものねだりである。11月から2月頃、この間に行くと丸くなった背中も背筋が伸びて若々しい体に戻った様な気がする。

11月1日、福岡空港出発機の中に車椅子に乗った3組の老夫婦を見かけた、病気の治療のためだろうか、バンコク空港に着くと看護師が迎えに来ていた。年々車椅子の方が多く見かける様になった。話によると介護士が一人の患者に一人付くとも聞く。日本の病院は3ヶ月で出されてしまう。施設不足、介護士が少ないなどの理由で。少子化高齢化の影響はここまで来たのではないかと思う。

マレーシア、ペナン島

日本からペナン島への直行便はないので、クアラルンプール国際空港経由かバンコクから（一日一便）である。二日間の学生校友会、バンコク支部総会も終わり、これからロングステイの海外調査（南国暮らしの会）である。総会にも参加していた親友の徳永ご夫妻（佐世保出身、学生の同期）昨年からペナン島でロングステイしている（会員ではない）。ペナン島のバトウ、フエリングはタイのチェンマイと並んでロングステイしている方が多い。一週間の調査、体験である。

リゾート地で熱海の風景に似ている、海の色が、幾重にも変化、涼しい風が入る、そんな所に住んでいる。奥様は小さい声で「できたら永住したい」と。

翌日はタクシーチャーターで観光（1時間800円）、「コーンウォリス要塞」1786年イギリス東インドの拠点。「ペナン博物館」、歴史、文化、自然など紹介している。「ケツ、

ロク、シ」約20年の歳月を費やして造られた、マレーシア最大の仏教寺院。そして「ペナン、ヒル」へ、ペナン島の真中に位置する。標高7百メートル、麓からケーブルカーが出ている。約10分間は登る。頂上は涼しく、街並、ペナン、ブリッジをはじめ、マレーシア半島の美しい大パノラマを一望できた。2時間の観光である。一人当たり、タクシー代、入場料、ケーブル代込みで1500円程度。二日目「南国暮らしの会」の会員である私はペナン支部主催のゴルフ（ハリラブ会）コンペに参加した。ペナン島には3ヶ所のゴルフ場があるが料金が高いのでほとんど使わないとのこと。ペナン島からマレーシア本島、パタワースへ渡る。車で四、五十分、行きはペナン、ブリッジ、12キロメートルの長い橋を渡る（75円）。帰りはフェリー（10分毎運行60円）である。こちらが安全とのこと。すでにゴルフ場に皆様お着きになっておられた。15名中会員外が2名である。ここでも曇りの日が最適日と呼ばれているが空は青々としていて喜ばれない日に当たった。キャディーなし、タイのゴルフ場とは違う何となく寂しい、そう言えばキャディーを一人も見かけなかった、居たのかもしれないが。池はほとんどない、池ポチャの心配なし、新しい玉が使えたが結果は変わらず。

夜は表彰式、ペナン島中心街の日本料理店で、ご夫婦同伴5組も加わり25名、皆ロングステイの方々、長い方で十数年、短い方で七ヶ月、私の隣には短い方である。

今年北海道陸上自衛隊を退任された方、年金受給まで三年待ち、それまでどう生活していくべきか悩んでいる時知ったのが「南国暮らしの会」とのこと。日本の生活費の三分の一以下で生活できると聞いて入会。私もかつて海上自衛隊のモニターとして携わっていたので「隊」について話が弾んだ。单身生活であるためか時に淋しいこともあるが自衛隊で身につけた料理、洗濯は不自由しないと話して下さった。この夜は一人の会員が一時日本へ帰国との事で全員で送る。皆で「早く戻ってこい」と声をかける。ちなみに今日のゴルフ費用は、ゴルフパック料

金90リンクット（2700円）グリーンフィ、昼食、ゴルフ保険付（クリスタルゴルフ場）。それから二日後、徳永氏の友人二人と四人でプレー、ペナンリゾートゴルフクラブ費用はゴルフ代70リンクット（2100円）車代、ガソリン代、30リンクット（1500円）。

次の日、徳永氏と中心街へ買い物に出かけた時のこと。あちらこちらの店を廻るのだが、求める品がなく、「後一軒寄って見るか」と言ってきた。「そこまでどの位掛かる」と聞くと、歩いて20分、外は暑い、少し疲れ気味、彼は元気が良い、「タクシーで行こう」と言うと、彼は「もったいない」と答える。結局話し合いで乗り合いバスに決まる。目前がバスセンター注意して横断する。バスの入口前で大男が大声で叫んでいる。何を叫んでいるのか分からない。そのバスに乗り込む、クーラーは付いているがあまり効かない、ないよりまし。20円の乗車代、辛抱、がまんである。ところでバスは動かない。乗って10分経過、座席はほぼ満席。彼に尋ねる、「何時出る」返事は「後、10分かな」。そういえばバスの時刻表らしきものがない。実際ない。外で叫んでいた大男がバスの中に乗ってきた、「もっともっと詰める詰める」と大声でせきたてる。お客は黙って従う、嫌な顔を誰もしない。苦情でも言うものなら直ちに降りれである。立席も一杯やっと動き出した。ところが途中路線から外れてガソリンスタンドへ、給油である。その間、誰一人何も言わない、たゞ静かに待つ。日本では有り得ない。彼が笑い乍ら話してきた、この程度ならまだよし、昼時になるとお客様を乗せたままで平気な顔して外で昼食する。ある時は何を思い出したのか自宅へ寄る。ついでに乗物に関して、タクシー運転士が良く使う言葉であるが料金など尋ねると「ノン、プラプレム」問題ない、心配しなくてよいとよく使う。私から言えば心配ありである。此の様な出来事も2、3ヶ月住んでいる内に慣れると言う。10円20円の生活これで動いている。同じマンションの階で同じ部屋でも仲介人、不動産屋によって家賃が違ってくる。マレーシア人、華僑（中国人）、インド人、ヤンゴン

人、中東人が共存している。それによって経済、生活が成り立っているのである。銀行の預金利息も違う、預ける方によっては一ヶ月分の生活費が浮いてくる。

この国には国産車(マレーシア車)が半分占めているが人気車は勿論日本車、高価である。(中古車もある)

会員の方にお聞きした事であるが、半年、一年間のロングステイは最初はお金が掛かる。勉強代と思いなさいとおっしゃる。ロングステイするにはインターネット、Eメールの操作は欠かせない。何ととっても目的意識が大切である。趣味(ゴルフ、アクアラング、料理、言葉の練習など)興味の有る方。また、治療で来る方(腰

痛、膝)暖かい所なので回復が早い、受け入れ態勢はマレーシア国が協力、指導している。タイ、バンコク国立病院三ヶ所も日本の医者が常駐している。民間保険に加入している方は日本で請求できる。海の好きな方はペナン、陸地が良い方はタイのチェンマイであろう。私はバンコクが好きである。ゴルフ場の数が多い(25~30ヶ所)。二年後には、団塊の世代が多数退職するのでロングステイ者が増えるのではないだろうか。

南国暮らしの会、会員も全国で一千名になったと聞く、九州で三十名、佐世保市内は私一名である。何ごとも一から始まる。

平成17年12月15日

セブ下見ツアー

関西支部 No.501 大川 泰永・恵利子

はじめに

まずは川上セブ支部長を始め、南国暮らしの会の皆様に色々お世話になり有難う御座いました。わずか5日間の滞在ではありましたが今は懐かしく楽しかった日々が思い出されます。

今回の報告はまず、関西初の「セブ下見ツアー」が企画された所から感じたまを文章に致しました。

わたくしは北関東、太田に単身赴任いたしておりましたが、本年3月大阪に戻ってまいりました。そのせいで関西での南国暮らしの会の例会には殆んど出席しておりませんでしたので、会員皆様とも面識も無く、これからと考えておりました。

今回「セブ下見ツアー」が企画されたのを知り会員皆様との親睦を兼ね、金魚のフンのごとくセブへ出かけるつもりで参加を決めました。元々はペナンに興味をもっており、今回の旅行もペナンに決まればよいなと思っておりましたが支部の総意として、セブに決まりました。それはそれで当然従うべきだし、次回のこともありますので、今回はそれでよいと思っておりました。

ところが蓋を開けてみると、なんと出席者が関西支部からは、松浦さんおよび私達夫婦のわずか3名、東海支部から坂田夫妻が参加いただき総員5名その上、松浦さんは先にマニラに行かれセブで落ち合うとの事です。関空からの旅立ちは4名となります。つくづく団体で行くことの難しさを実感した次第です。

元々妻は海外でのロングステイは反対でありましたが、今回団体で行くとの安心感から渋々同意しておりました。結果として、自分達で行く個人旅行と殆んど変わりません。それだったら、何でセブ???

夫婦間でももめました。今回の下見ツアーはすでに川上支部長始め、各方面に公表されており関係上、私達が辞めれば余りに影響が大きいと考えました。特に東海支部の坂田夫妻に迷惑が及ぶことは、許されない事と思い参加を強行しました。

私自身は海外出張を何度も行っておりますので今回の海外旅行に関してそれほど不安を感じているわけでもありません。ですから、結果として金魚のフンから先頭を切って突っ走る役に代わりましたが、なんとでも成ると一方では思っ

ておりました。このことが今回の投稿につながり、重要な役目を仰せつかった経緯といえるでしょう。

参加旅行ツアーの内容

HIS「パシフィックセブに泊まるセブ島5日間」

期間：6月8日（金）～6月13日（火）

旅費：51,800円（全朝食つき）

ホテル：パシフィックセブリゾート

旅程：関空 香港 セブ

セブ 香港 関空

航空会社：キャセイパシフィック航空

出発準備

海外携帯について

この機会に海外で使える「FOMA」に切り替えました。従来から「FOMA」を使っておりましたが海外で通話ができる「FOMA N600i」に替えました。データの移行も簡単に出来たのですが、「FOMA」はICカードが挿入されており、新しい「FOMA N600i」も旧の「FOMA」もこのカードの抜き差しでどちらでも使えることが判りました。ですから、国内用と海外用と2台を使いこなすことも可能です。

実際の海外での使用ですが、セブ到着し電源を入れます。これにより携帯自身がローミング先を検索しているようです。

セブ到着が1時間遅れましたので、川上支部長宅に電話しましたが、問題なく繋がりました。音質も問題ありません。日本の家族ともメールをやり取りしましたが、これも問題なくできました。短期のステイや海外旅行程度であれば、大変便利と思われれます。また、海外旅行でトラブルに巻き込まれたとき外国語（英語、中国語、韓国語）の出来る友人に携帯から電話できるので、これほど心強いものはありません。

両替

セブ空港でのレート	1万円	4,400ペソ
ホテル	1万円	4,500ペソ
アヤラショッピングセンター	1万円	4,600ペソ

ホテルのレートは悪いと聞いていたが、空港の

方がもっと悪かった。HISの出迎え者の案内で、交換所に行ったのでレートが悪かったのかも???

セブ（マクタン島）

関空を午前10時定刻に出発、香港で乗り換える。香港での待ち時間は3時間、出発時1時間の遅れもあり、定刻より1時間遅れの22時にセブ（マクタン島）に到着、東京よりの同ツアー客のバックが出てこず、この間20分程更に待たされる。結局バックは出てこず、ホテルで連絡を待つとの事、着替えも無いようで、せっかくの旅行が台無しで気の毒なことであった。ホテルで川上支部長がお待ちと聞いていたので、少々焦り気味。



到着時の気温は32度程度、湿度が80%くらい有り南国特有のムウとくる蒸し暑さ。車中からホテルまでの風景に女房が圧倒される。あまりの人の多さ、アバラ小屋、貧相な屋台、上半身裸の人、悪路、街頭の暗さ等々。

ホテルのゲートを越えると状況は一変。南国ムード漂う建物や樹木、スタッフの洗練された服装。川上支部長とホテルのレストランで初面談、まずは扇風機の心地よい風と冷えたサンミゲールで至福の一杯、やっと到着した・・・

川上支部長と明日以降のスケジュールについて確認。翌日は私ども5名を川上支部長のご案内でセブ市内の住宅を3箇所案内していただき、夜はセブ滞在中の会員の皆さんとの会食をセットしていただいた。

セブ島

滞在ホテルはリゾート型ホテルでマクタン島東岸にプライベートビーチや船着場、プール等

すべてが整っていた。セブ市内へは10数キロ離れており、わざわざ川上支部長に迎えに来ていただき、総勢6名にてのゼブ市内視察と相成った。



セブ市内は昨夜見たマクタン島とは大違いで、整備された道路や建ち並ぶビルディング、都会の喧騒とまさに地方都市といった佇まいに、女房もようやく納得した表情。

最初に市内最大のアヤラショッピングセンターに案内いただき、その規模の大きさにビックリ、おそらく延べ面積1万坪はあろうかと思われるショッピングゾーンを散策する。

両替でビックリするのは、その通貨の多さ。米ドル、シンガポールドル、カナダドル等々おそらく20カ国の両替が出来るようだ。いかにこの国が出稼ぎに頼っているのかが、垣間見られた想いだ。

その後同じ敷地内にある、川上支部長のコンドミニアムを訪問。スペースは80平米とのことで、家賃は7~8万円、管理費が別途1万円程度だそうで、何人かの「南国暮らしの会」のメンバーが住まれているようだ。もっともここは大変人気があり、現在空き室はなく、空いてもすぐに埋まってしまうとの事。その他、家賃2万と数十万円の所を訪問する予定であったが、先方の都合により訪問できなかった。

セブでの生活

南国暮らしの会の方々と会食も催していただいた。その際セブでの生活についてお尋ねした。たまたまだったのか、こられた5名の会員の方々が単身で滞在されている事。

また、セブでの生活費は月30万円以上出費

されているようで、人生を謳歌するのであればそれくらいが必要との事、南国まで来て貧乏暮らしをするのであれば、辞めたほうがよい、むしろ日本でつましく生きたほうがよいと割り切ったご意見の方も居られた。

年金の枠内で生活できる所を探している自分にとっては、この意見は大変ショックでした。そもそも南国暮らしの会に入会した動機は年金の枠内でいかに、楽しく暮らすかがテーマであり、タイやマレーシアより一番物価が安いであろうフィリピンがこんな状態ではこの先思いやられると感じた。

食事

イタリアン

セブ市内を一望できるイタリアンレストランで昼食をいただいた。味はGOODだが、少々料理が冷めていたのが残念でも1名700円程度なので大変満足した。

中華料理

「南国暮らしの会」の皆様と会食。フカヒレスープに始まり、北京ダック、なまこ(干しなまこ)の煮込み、海老のフリッター等々、日本では1人1万円はかかるような料理が、1人1500円で堪能できた。味と安さに感動。

パシフィックセブリゾートのレストラン

アジア風やきそば、ビーフンは安くてGOOD、鳥スープ日本人好みで大変満足。日系のホテルではあるが、1人1000円程度で十分食事ができた。毎朝の朝食もパンが毎回違っており大変おいしかった。

総じてセブでの食生活は非常に豊かで豊富にとんだものであり、我々も安心して楽しめるレベルにあるとおもわれる。今回、日本料理にいけなかったのがすこし心残り、そのレベルを知りたかった。

マッサージ

今回の旅行で特筆すべき点として、やはりマッサージが上げられるだろう。川上支部長の案内でスポーツセンターに併設されたクラブに訪問。1人1時間450ペソ(900円)で指圧式orオイルマッサージが受けられる。特に女房はオイルマッサージが初めての体験で、価格の安さと、

マッサージの心地よさに大いに満足したようだ。セブ滞在の皆さんがゴルフの後に毎回のようにマッサージを楽しまれているとお聞きし、まさに海外ステイでの醍醐味(ちょっと大げさかな・・・)を感じる一瞬でもありました。

タクシー

初乗りは30ペソで非常に安い。また、冷房も効いており少なくとも中国やインドネシアのタクシーより快適である。基本的にはメーターで行ってくれるが、つり銭を持っていても、つり銭が無いと言われるケースが多いそうだ。我々も市内で乗ったとき、メーターは80ペソであったが、釣りは無いと言われた。

また、セブ市内からホテル(マクタン島)に帰る時は割増を要求されるそうで、200~300ペソぐらいと教えていただいていた。実際ホテル(マクタン島)からセブ市内に向かうときホテルのタクシーを利用、その際850ペソ支払う。セブ市内(アラヤショッピングセンター)からの帰り、ホテルまでは200ペソで交渉成立したが、到着したときのメーターが180ペソだったので、300ペソ払った。その時の運転手の笑顔に女房共々気分よく下車。サングラス姿(ちょっと怖い)だったが、降りるときメガネをはずし、微笑んだ時の白い歯が特に印象的で、その落差がより好感をもてたものと思われる。

おわりに

セブ滞在の皆さんは現地で3ヶ月ビザを申請される方がほとんどだそうだ。ホテルは1600ペソからあるそうなので、初めてセブにロングスティするとしたら、2~3ヶ月のホテル滞在から始めるのもいいかもしれません。ロングスティするにあたっての生活の軸をどうおくのか、英会話、ダイビング、ゴルフ、テニス等、何でも出来るのが、セブの魅力かもしれません。

また、セブで一番重要なのは治安で、うわべだけの滞在でははっきりは判りませんが、地方独特ののんびりムードがあり、それほど大きな問題はないと想われます。

最後に今回のツアーのためにご尽力いただきました皆様にお礼を申し上げますとともに同行い

ただいた、坂田夫妻からのメールを転載させていただきます、今回の報告とさせていただきます。皆様有難う御座いました。

坂田夫妻のメール

大川泰永・恵利子 様

こんにちは、坂田です

セブ島には、御一緒させて頂き、大変楽しく過ごす事が出来大変喜んでおります。150分かけて夜中の1時頃無事帰宅しました。

今回は短期間の下見でしたが、私的には、順位をつけると(1)ペナン(2)セブ(3)チェンマイ(4)コタキナバル(5)ブーケットとなります、一番のネックは、ビザ取得期間が21日間と、短い事です、私どもの経済力からしますと、30日間は滞在しなければ、会計が赤字になります。しかしペナンばかりにも行ってはおれず、目先を変えるステイ先としては合格だと考えております。なお、この下見で予想外だったのは セブには単身滞在の会員の方が多かった事です、亦、各自で高い家賃、同マンションを借りていて、シェアしてない事でした。お話でも多分相当の経済力を感じました。ホテル(の一室)でもシェアする今日この頃と思いますが、余程快適性を追求しておられるのでしょうか。

何しろツツガナク楽しく過ごせまして、嬉しく思っています、有難う御座いました。

お疲れ様でした、我々はゆっくり出来ましたけれど、大川さんは、お仕事で大変でしたね、今夜は早めにお休み下さい、恵利子さんのお腹の具合どうですか?今回の旅行本当に楽しく過ごせまして、これも大川さんご夫妻のお陰と思っています、写真何日か後お送りします、

くれぐれも、お体無理なさいません様に、今日はこれで失礼致します。

坂田雄二郎・美津子

お役立ち情報シリーズ

夏季号から「お役立ち情報」をシリーズで掲載していきます。秋季号以降「宿泊情報編 2」で、セブ・バギオ・ダバオ・クアラルンプル・コタキナバル・バリ・その他の東南アジア各地・etc 「外国語学習編」「日本語教師編」「ボランティア活動編」「食事・買い物」「趣味・遊び編(ゴルフ)(ダイビング)」「医療体験」「治安に関する体験」「現地人との交流」「現地での小旅行」「現地での交通手段、その他のお役立ち情報」を予定しています。

今までの会報で掲載されてきた各地の旅行記などで紹介されてきた有益情報をまとめなおして提供するという意味もあります。また、上記のような情報が集積したら次のステップとして、「チェンマイ編」「ペナン編」という風に地域別に再編集する方針です。海外のホテルや格安ツアー、格安航空券。当然かなりの時間経過の中で再編掲載されるので、情報の鮮度という点では魅力が薄れるかも知れません。このシリーズで提供する情報はあくまで南国生活を計画す

る際の参考情報ですので、活用する際には常に各自の責任において再確認することが大切です。

海外旅行や海外生活を体験する中で(した中で)会員に提供すべき「お役立ち情報」を入手した会員は、積極的に会報担当理事(氏名、メールアドレスは奥付ページに記載)に情報提供してくれることを期待しています。(会報委員会)

海外旅行に役立つサイト情報

南国暮らしの会の会員の皆さんの中にはパソコンの達人や、経済的な海外滞在や旅行のノウハウをお持ちの方が大勢います。それらの会員はインターネットを駆使して有益な情報を収集し、ネットを通じて航空券やホテルの予約を行ったり、いろいろなオークションに参加したりしています。ここではあくまでそうした手段に慣れていない会員のために、ごく基本的な有益サイトを紹介することにしました。

海外のホテルや格安ツアー、格安航空券

サイト名とURL	内容
アップルワールド http://www.appleworld.com	日本語でのホテル予約サイト。世界の2000以上の都市、3万軒以上のホテル予約ができる。きめの細かいサービス、Q & Aも充実
Planet Holiday http://www.planetholiday.com	世界各国のホテル予約が可能だが、どちらかというと東南アジアが強い。アップルワールドに比べて料金設定が格安なので、筆者(465橋本)はこのサイトをよく利用している。日本語予約可
JHC http://jhchotel.com	東南アジアが強い。現地オプションツアーが豊富。個人旅行向き
Yahoo トラベル http://travel.yahoo.co.jp/	格安航空券、ツアー、ホテル情報豊富
AB-ROAD.net http://www.ab-road.net/	格安航空券、ツアー、ホテル情報豊富

マイレージ情報

マイレージの達人 http://www.mile-tatsujin.com	効率的なマイレージの獲得法や上手な利用法、各国の航空会社のキャンペーン情報など、マイレージに関する有益な情報を収集できる。
比較.com http://www.linknz.com/	ツアー、格安航空券情報も豊富

世界各国のビザ取得情報

ISA GUIDE for Backpacker http://homepage1.nifty.com/backpackers/visa.htm	190か国のビザの取得、延長、国境越え情報などの収集に便利。治安情報も役に立つ。
---	--

お得なお買い物に役立つサイト

価格.com http://www.kakaku.com/	ほとんどのジャンルの商品の価格が比較できる。国内、外国旅行ツアー、宿泊施設、外貨預金金利等の比較をするのに便利
----------------------------------	---

海外生活のノウハウや世界各地の有益情報

海外移住情報 http://www.interq.or.jp/tokyo/ystation/	世界各国の移住情報、VISA情報、生活滞在方法、リタイアメント移住制度の一覧、海外ボランティア一覧、海外渡航関連情報一覧など膨大な情報が集積
海外生活へのリンク集 http://hp.vector.co.jp/authors/VA017536/world/	世界各国での生活、留学、現地語の学習等、大勢のマニアが参加しているリンク集
バックパッカー情報室 http://www.tabineta.com/	世界各地を自由気ままに旅するバックパッカーたちが持ち寄った生の情報が満載
Overseas Site http://www84.sakura.ne.jp/~kioa/	海外在住の日本人の生活情報リンク集。長期滞在、留学、移住などで生活している日本人が海外から発信しているホームページを集めている
知りタイ.net http://www.shirithai.net/	タイ情報専門のリンク集。タイ国内各地の情報、ホテル、ゲストハウス、旅行記レストラン、買い物情報等ほとんどのジャンルが網羅されている
PROGRAM D INTERNATIONAL http://www.pdi.co.th/	バンコク発券エアチケットを扱っている会社のサイト。バンコクから国内外各地へのエアチケットをIT予約できる
Swadeechao Chiangmai http://www.sawadeechao.net/	チェンマイ旅行の基礎知識、ホテル、宿泊施設情報、買い物、食事、物価などきめこまい情報が手に入る。リンク集も充実している
oh! マイ フィリピン バギオ通信 http://homepage2.nifty.com/SASE-TAMOTSU/	バギオの宿泊施設、ゴルフ場等の情報あり。「バギオ通信」で検索すると、南国暮らしの会のベテラン会員、通称「少年探偵団」関西の神原克収氏のサイトも楽しむことができる
ゴトSUNのセブ島旅行 http://cebu-travel.cool.ne.jp/	セブ島および周辺の島のホテル、みどころ、食事、物価、セブへのフライト、夜のセブ観光、アクティビティ等盛りだくさんな内容
マレーシア ペナン島でロングステイ 第二の人生を暮らす http://www.eps4.comlink.ne.jp/~y-kimura/	南国暮らしの会のNo18木村義光・まゆみさんのサイト、宿泊施設、ペナン島で暮らす14ヶ条、ペナン生活ニュース等ペナンロングステイのノウハウが満載
JLAN JLAN http://www.junmas.com/	世界各地の情報満載の人気のあるマレーシアのサイト。特にクアラルンプルの情報収集に役立つ
豪州屋便利帖 http://www.australiajapan.com/	オーストラリアと既にビジネスなどで関わりのある方や、これから旅行や留学で豪州とおつきあいしてゆく予定の方にも役立つ便利な情報をまとめた日豪ハイブリッド型ソース。出発から滞在中、帰国に至るまでお使いいただけるよう全般を網羅している
Linknz.com http://www.linknz.com/	ニュージーランド各地の宿泊施設、ツアー等の検索に便利

宿泊施設情報編 1

海外旅行や海外での長期滞在を計画している会員の皆さんにとって一番知りたいのはホテルやコンドミニアム等の宿泊施設の情報だと思います。そこで今回は人気度の高いタイ・チェンマイ・マレーシア ペナンの宿泊施設情報を提供します。

東南アジア各国はここ数年、年率6%～8%の経済成長が続いています。それにつれて諸物

価も少しずつ騰がっていきます。また海外生活をする上で為替レートの変動は最大の関心事です。会報で紹介する料金も、あくまでその時点における料金であることをお忘れなく。必ず事前に自分で調べて各自の判断で契約することが大切です。

また、長期滞在のためにコンドを探すときは、初めの3泊ぐらいはホテル宿泊にし、その間にお目当てのコンドを自分の目で比較検討して契約する慎重さが求められます。

チェンマイ宿泊施設情報

(料金のBはパーツ；1パーツ=3.0円 7/1現在、両替手数料を含まない)

ホ テ ル		料 金	送迎・日本語
アマリリンカム ()	人気のニマンヘミン通りに有り、デパートにも徒歩圏内。近くに在住者も多く日本人には良いホテル	スーペリアルーム 1泊 1,550 B 30泊 31,500 B シングル、ツイン同料金	送迎：有料 日本語可、日本人スタッフ有り
インペリアル メーピン ()	有名なナイトバザール近くに有り、買い物などには便利。皆様ご存知のテレサテンが謎の死を遂げたホテルとしても有名	スーペリアルーム 1泊 1,650 B 30泊 37,500 B シングル、ツイン同料金	送迎：有料 日本語可、日本人スタッフ有り
ロータスPSK ()	セントラルデパートと隣接し、ホテル内からデパートへ行ける。料金の割には納得の部屋。交通の便などでは、1番良いホテル	デラックスルーム 1泊 1,150 B 30泊 30,000 B シングル、ツイン同料金	送迎：無料 英語可、日本人スタッフ無

上記条件は、6月18日現在～9月末までの料金です。10月以降の料金は9月中旬までお待ちください。10月以降を現状予約の場合は、1泊100パーツUPにて予約可です。

コンドミニアム、マンション、アパートメント		料 金	その他
ヒルサイド4 コンドミニアム 部屋数：600位	ニマンヘミン通りとセントラルデパートの真ん中に位置し、ロングステイヤーには、1番人気	ワンルーム 44m ² 1ヶ月 14,000 B / 月 6ヶ月 13,000 B / 月 12ヶ月 12,000 B / 月 2ベッドルーム 88m ² 1ヶ月 25,000 B / 月 6ヶ月 23,500 B / 月 12ヶ月 22,000 B / 月	交通の便： 入居条件：1ヶ月でも可 保証金2ヶ月分 空き状況：毎日変動。 現状10部屋くらい 部屋設備：部屋タイプによる
ヒルサイド3 コンドミニアム 部屋数：370位	ニマンヘミン通りにあるコンドミニアム。多少古いですが、リーズナブルな料金で人気のコンドミニアム	ワンルーム 44m ² 1ヶ月 8,500 B / 月 6ヶ月 8,000 B / 月 12ヶ月 7,500 B / 月 2ベッドルーム 88m ² 1ヶ月 1,5000 B / 月 6ヶ月 1,4000 B / 月 12ヶ月 1,3000 B / 月	交通の便： 入居条件：1ヶ月でも可 保証金2ヶ月分 空き状況：毎日変動。 現状70部屋くらい 部屋設備：部屋タイプによる

ナコンピン コンドミニアム 部屋数:500位	ホイケウ通りにあるコンドミニアム。多少古いが、リーズナブルな料金で人気のコンドミニアム。セントラルデパートの前に有り、買い物などには便利	ワンルーム 40m ² 3ヶ月 8,500 B / 月 6ヶ月 8,000 B / 月 12ヶ月 7,500 B / 月 2ベッドルーム 95m ² 3ヶ月 2,200 B / 月 6ヶ月 2,100 B / 月 12ヶ月 2,000 B / 月	交通の便： 入居条件：最低3ヶ月 保証金2ヶ月分 空き状況：毎日変動 現状4部屋くらい。 部屋設備：部屋タイプによる
チャイマンション 部屋数：50位	ホイケウ通りにあるサービスアパートメント。築年数が新しく、リーズナブルな料金で人気のサービスアパート。セントラルデパートの前に有り、買い物などには便利	ワンルーム 24m ² 1ヶ月 5,500 B / 月 3ヶ月 5,000 B / 月 寝具等は自己負担となります	交通の便： 入居条件：1ヶ月でも可 保証金1ヶ月分 空き状況：毎日変動 現状4部屋くらい。 部屋設備：エアコン、テレビ冷蔵庫、電子レンジ、LAN(インターネット)、バスタブ

各コンドミニアムとも、全てオーナー制なので部屋タイプや付属品、内装は全て違います。もちろん料金も平均を記載していますが、各部屋にて違います。契約条件も各部屋にて違いますので、通常の場合で記載しています。たとえば、コンドでも、1年以上でないで貸さないオーナーもいれば、料金も隣の部屋と倍くらい違うときもあります。あくまでも、参考にしてください。日本とは違いますので。基本的にはチェンマイに来てから自身にてお部屋を見て、交渉となります。

上記の宿泊施設は「南国暮らしの会 - チェンマイ支部」が提携している（KKトラベル）のジョンさんから提供していただいた情報です。上記以外に、チェンマイには実にさまざまなバリエーションの宿泊施設が数え切れないほどあります。ただし、現地の信用のおける旅行業者に依頼して契約するのが、料金的にも格安ですし、トラブル遭遇時のためにも安心です。

- ・ K . K . トラベル = K . K . TRAVEL LTD . , PART
- ・ E-mail: cnxtour@yahoo.co.jp
- ・ 担当者 ; ジョン (JOHN) さん (本名 = 古江氏) ・ ・ (携帯) 01 - 7965682

チェンマイのその他の宿泊施設 (ごく一部)

Planet Holiday でインターネット予約する場合

<http://www.planetholiday-jp.com/hotel/62359.htm>

ホテル	グレード	オフシーズン	ハイシーズン
リッジスアノーマ ターペー ホテル	4	1,300 B	1,733 B
Lama mantra ホテル	4	1,540 B	
エンプレス ホテル	4	1,160 B	1,848 B
チェンマイプラザ ホテル	4	1,425 B	
チェンマイオーキッド ホテル	4	1,300 B	2,200 B
チェンマイフォーカム ホテル	3	620 B	1,232 B
ノホテル	4	970 B	1,078 B

朝食付き Twin の料金です。

日本円表示の場合は当然そのときの為替レートによって変動します。またハイシーズンの予約は少なくとも30日前にしておくことが大切です。

コンドミニアム、マンション、アパートメント	
パシフィックマンション	バスタブ、キッチン付きの部屋もある
ファイケーオ レジデンス	新しい7棟もある大型コンド、キッチンバスタブなし
ファイケーオ プレイス	バスタブ、キッチン付きの部屋もある
M & D マンション	タニン市場の裏、ツインB、冷蔵庫あり、NHK可

ペナン宿泊施設情報

(料金のRMIはリンギット；1リンギット=31.12円 7/1現在、両替手数料を含まない)

ホテル		料金
COPTHORNE ORCHID HOTEL (コプトーン オーキッド ホテル) TEL 604-890-3333 FAX 604-890-3303 Email: sales@copthorne.com.my	タンジュンブンガに位置し、すぐ前にバス 停あり。近くに大きな屋台、セブンイレブ ン、医院などが有り、朝市まで徒歩で10 分ほど。日本人スタッフ勤務。プール・ジ ム・フィットネスクラブ・サウナ・美容、理 容室等充実した施設で日本人宿泊者が多い	Superior 2,900RM++ Junior Suite 3,300RM++ Family Suite 3,600RM++ Executive Suite 4,000RM++ (++は15%の税金が加算)

ロングステイ スペシャル料金です。2人朝食付き 30泊以上(2006年12月まで)
1泊の料金(朝食別)はSuperior 128RM++ Junior Suite 148RM++
ハイシーズンには料金設定が変わります。

コンドミニアム、マンション、アパートメント		料金
ガーニーパーク	88m ² 3BR 海の眺め良好 セキュリティ、家具付 プール、テニスコート有	長期 RM1800~3000
ムティアラピラ	108m ² ~ 3BR 海眺望 セキュリティ、家具付 プール、テニス	長期 RM2500~
ベッサリー コート	117m ² ~ 3BR 海は見えない 買い物に便利	長期 RM2800~RM350
マリナ ベイ	99m ² ~ リゾートの セキュリティ プール	長期 RM1700~RM2500
スリ パンコー	153m ² ~ リゾートの プール、ジム	長期 RM3500~
スリ ヨーク	88m ² ~ リゾートの セキュリティ プール、ジム	RM1500~
タンジョン パーク	88m ² ~ アイランドプラザ前の新しいコンド リゾ ートの セキュリティ プール	RM1700~
ダイヤモンド ピラ	133m ² ~ リゾートの セキュリティ プール、ジム	RM1800~
マイアミ グリーン	94m ² ~ リゾートの セキュリティ プール、ジム	RM1800~
ガーニー ピラ	100m ² ~ ガーニープラザS隣 買い物に便利	RM2000~

2005年11月現在(短期1ヶ月~3ヶ月 長期1年以上) 以上のホテル、コンドミニアム情報は
木村義光さんのHPからです。詳しく知りたい方はHPを開いてください。なお、利用を希望する方は
木村さんと事前に相談するのが良いと思います。

ペナンのその他の宿泊施設(ごく一部)

Planet Holidayで検索したホテルのごく一部です。朝食付きオフシーズンの料金です

Planet Holidayはタイ、バンコクに本社があるので料金はバーツ表示です。

- ・ベイビュー ビーチリゾート ホテル (2349B~)
- ・ホリデイ イン (3080B~)
- ・シティ ホテル (1800B~)
- ・Lone Pine ホテル (1656B~)
- ・タンジュン ブンガ ビーチ ホテル (1155B~)

支部報告

第一回北海道支部会報告

- ・日時 6月17日(土) 14:00~17:00
 - ・場所 札幌市男女共同参画センター大研修室
札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ4階
- 議 事
1. 17年度事業報告 18年度事業計画 工藤支部長
- 18年度新規計画・会計報告等含む
- 役員選出
 - 2 情報提供「ペナンに住んで」 賀陽恒磨様
 - 3 「セブでの話」 大平盛雄様、佐藤幸成様
 - 4 「マレーシア・タイの2ヶ月」 佐藤治巳様
 - 5 「ハワイ・ペナンのゴルフ」 佐藤勝治様
 - 6 その他・皆様からのご意見等
- 懇親会
PM5:30~7:30 北のささや本店、3,500円/人

支部会は予定通り次第に沿って行われました。17年度支部事業報告、18年度事業計画について工藤支部長より報告されました。この中で5月28日に行われた本部総会の様子についても報告されました。また本年度から新たな事業として、ミニサロン会の開催と予算付け等も話

され、補助の条件等も含めて、年6回程度実施することが奨励されました。

情報提供では「ペナンに住んで」というタイトルで賀陽ご夫妻のペナン滞在記を、実際の生活支出内容を公開しながら、説明してもらい、今後の会員の大きな参考材料になりました。話を聞く中で、年金の範囲でも、結構豪華に、楽しく暮らせることを再確認した次第です。

引き続き、「セブでの話」ということで、大平盛雄さん、佐藤幸成さんからそれぞれ話がありました。太平さんの目的はセブでの語学研修(英語)ということだったようですが、こういう目的で真剣に行かれて学習している姿勢には、会員皆さん感心しておりました。佐藤さんは何回も行っているセブの話のユーモアを交えながらお話されこれまた大変参考になりました。また「マレーシア・タイの2ヶ月」は新会員の佐藤治巳会員からの報告でしたが、それぞれの国の特徴や、暮らしの特徴などが話され参考になりました。佐藤勝治さんの「ハワイ・ペナンのゴルフについて」は行ったゴルフ場の代金や、予約方法等が詳細に報告され、行ったゴルフ場の多さや、料金等はゴルフ好きの方々には大きな収穫だったと思われる内容でした。

予定の時間ぎりぎりまで、大いに盛り上がり



た情報交換会でした。その後近くの地下街の懇親会場では、新会員の自己紹介やら、会員同士の体験おしゃべり、今後の希望についての話やら、延々と話はずきませんでした。最後とうとう支部長宿泊ホテル部屋にて、第二次会午後10:30分過ぎようやく解散。楽しい半日でした。

(625 工藤俊一)

九州支部便り

(総会・情報交換会・懇親会)

4/1午前、希望者集合で昨年同様大濠公園で花見を行いました。満開の花の下、総会に備えました。お昼から、次のとおり、九州支部総会を開催しました。

- ・日時 4月1日(土) 13:30~16:30
- ・場所 福岡市NPO・ボランティア交流センター - (福岡市立青年センター - 5階)
- ・議題 1. 平成17年度事業報告・会計報告
2. 平成18年度 事業計画
3. 連絡網整備
4. 役員改選
5. 情報交換会

参加数は、会員19名、家族8名計27名でした。福岡以外で佐賀、熊本、長崎からの参加がありました。(支部会員33名、7/1現在40名)

1. 支部長から、3/21の臨時理事会の結果報告があった他、九州としては昨年は、熊本セミナーを実施し、80数名が集まる等多大の成果が得られたことが確認されました。
2. 今年度は、7月、11月、1月第1土曜日のサロン会の開催実施が確認され、状況に応じ臨時の会も検討することにしました。(7月度は17日に実施)
3. 連絡網は、メール以外での支部会員への連絡の便のために、各県別の連絡担当者を決めました。
4. 役員改選が行われました。(新役員は下記)
支部長 851 稲田 聡
副支部長 652 深松 幸康
総務 581 朝永 清寿 651 穴見 洋子
701 手嶋 邦人 758 白井 征

会計 920 國武 光慶
監査 947 松岡 利重
顧問 30 竹村 毅俊 12 稲延 裕

5. 1月のサロン会以降ステイに出た会員からペナン、イポー、キャメロン・ハイランドの訪問報告、フィリピン(セブ、ダバオ、バギオ)のステイ下見報告がありました。



懇親会：総会終了後、恒例の場所で行いました。懇親会の場所：「振り子」 親不孝通り北端から50m手前、19名集合で懇親を深めました。

(6/11(日)蕎麦打ち体験、試食会)

福岡市婦人会館で、9:00~12:00、副支部長深松名人の指導の下希望者9名、初めての体験をしました。名人が打ったざる蕎麦はもちろん素晴らしい味、しかし初体験の不ぞろい蕎麦もぶつ掛けにすれば、負けず劣らず。なじみの薄い九州人もすっかりそばの味にはまったようでした。またの催行要望しきりでした。



(9/30発10日間、チェンマイ訪問ツアー)

準備中です。チェンマイの方々よろしく願います! (851 稲田聡)

関西支部便り

18年度の例会情報（7/8開催）は、原稿締切期日に間に合いませんので、昨年度の活動を振り返ってのご報告とさせていただきます。

又、6月に催行したセブ下見ツアーについては、別掲501大川泰永氏の報告をご一読下さい。昨年度は、計7回の会合を開催致しました。

回	日取り/ 参加人数	会合	内容
1	2005/7/3 36名	17年度総会/ 7月例会/総親会	NZステイ体験記/ nangoku_westの解説
2	2005/10/22 19名	サロン会	『ペナン暮らし』 No.012 大橋ご夫妻
3	2005/11/6 14名	11月例会/ 総親会	ステイ先での楽しみ方三題
4	2005/11/27 8名	夕食会	ペナン支部石原氏を囲んで
5	2006/3/12 28名	3月例会/ 総親会	下見ツアー/ フィリピン最新事情/珍道中顔末
6	2006/3/18 28名	サロン会	ハワイのロングステイ
他	2006/2/12 21名	下見ツアー	第一回会合

※参加人数には、家族会員、見学者等を含みます。



2005/7/3例会



2005/11/12夕食会

関西支部は会員番号で約90名、家族会員を含めると総勢120名程度になりますが、参加人数の推移から眺めると、活発な活動を展開しているとはいえない状況です。

幾つかの原因が考えられます。

企画のマンネリ化

昨年度の会合に1回以上参加された会員は51%ですので、半数の会員は全く参加されなかったこととなります。会員番号別で見ると、古い番号の方が欠席しがちであることが、読み取れます。新しい会員の方には新鮮であっても、古参会員の方にとっては、魅力に乏しい企画となっていることが懸念されます。支部役員にとって、今後の課題です。一方、古参会員の方には、新しい会員と交流できる機会を捉えて、積極的に豊富な知見を披露して頂き、関西支部の活動がより実り多いものとなるように力を貸して頂きたいと考えます。

45年前、JFK（阪神のピッチャーではない）が大統領就任演説で国民に語りかけた、有名な一節をどうぞ。

『Ask not what your country can do for you,
ask what you can do for your country』

所管エリア

関西支部は京阪神の通勤圏でもある2府4県の他、北陸2県、中四国各4県を含む2府14県を所管エリアとしております。又、府県別会合参加状況を調べますと、2府4県以外からの参加が殆ど無いことが判ります。関西在住の会員にしてみれば、北陸や中四国の会員と交流できる機会が与えられていることは、願ってもないことですが、現時点では広域支部のメリットが生かされていないということになります。

広域支部の交流を促進するには、会合開催地やイベント自体に、工夫が必要かと認識しております。会員の皆様も良いアイデアがございましたら、是非ご提案頂きたいと思ひます。

（広報担当 618 大木研一）

友好団体紹介コーナー

財団法人ロングステイ財団

ロングステイ財団は、ロングステイ（海外滞在型余暇）に関するニーズに対応したさまざまな情報の収集・提供やロングステイに関する調査研究、ロングステイヤーのサポート、ロングステイに係るあらゆる活動を行うことを目的として、1992年に通商産業省の認可を受けて設立された公益法人です。

電話:03-3505-4477 FAX:03-3505-4433

E-mail: info@iongstay.or.jp

URL: <http://www.lonngstay.or.jp/>

東京都港区東麻布1-28-2（第六文成ビル2階）

財団ニュース

9月23日（土）24日（日）開催のJATA世界旅行博にロングステイ財団が出展いたします。ロングステイ最新情報、賛助会員の情報コーナー、相談コーナー、出版物販売を予定しております。

「第一回 ロングステイフォーラム」開催11月11日（土）12:00～18:30
会場は大手町の三井生命保険株式会社〔財団賛助会員〕。ロングステイに特化した情報発信フォーラムです。参加予定はロングステイ人気の各国の政府観光局、航空会社、財団の賛助会員、海外サロン、ロングステイ関連産業が大集結する初めてのイベントです。詳細は秋号で発表します。スケジュール表に書き込んでおいて下さい！当日は各種セミナーの会場と、各団体、企業の情報デスク、相談コーナー、健康チェック等々多彩な催しを予定。抽選で来場者の中からロングステイ体験旅行をはじめ、プレゼントを用意してお待ちいたしております。

いずれの情報も詳しくは財団HPに掲載いたしますのでご覧下さい www.longstay.or.jp

ワールドステイクラブ（WSC）

本クラブは「世界で作ろうシニアの生きがい」をスローガンに、海外旅行、滞在生活を通じて精神的な充実と生きがいを求める親睦団体です。

〒162-0827 新宿区若宮町3-7-2ビル2階

電話/FAX 03-3268-2731

E-mail: woridstay@nifty.com

URL: <http://homepage3.nifty.com/worldstayclub/>

チェンマイロングステイライフの会 （CLLクラブ）

世話人代表：中西重利氏、副代表：富谷泰生氏
事務所：この度移転いたしました。チェンマイオーキッドホテルに向い右50mの空間を挟むブティック商店街の小さくかわいい噴水の奥
電話：053-895-002

月～金曜の毎日14:00～16:00の間、役員が交代で詰めております。ご来チェの際には是非覗いてみてください。オフィスではクラブ員手作りの珠玉の名著「チェンマイ生活ガイドブック」を、実費でお分けしております。これさえあれば、チェンマイ暮らし怖いもの無し！

・ホームページ <http://cll.thai.jp.net>

THE JAPAN CLUB OF KUALA LUMPUR KL （クアラルンプール）日本人会

（住所）No. 2 Jalan 1/86, Off Jalan Taman Seputeh, Taman Seputeh, 58000 Kuala Lumpur, Malaysia

（担当者名）事務局長 藤井和道氏
（2005年7月3日現在）

（会の概要）クアラルンプール日本人会は1963年に設立されて以来、会員の皆様からの大きなご支援をいただきながら、日本人社会の相互親睦とに日馬間の友好・親善促進という二大目標を掲げ運営しております。これからも、たくさんの方々に参加していただけるよう、より一層の施設の拡充と、マレーシア社会への貢献活動の強化を図ります。皆様のご入会をお待ちしております。 URL: <http://www.jckl.org.my/>

バンコク日本人会 バギオ日本人会 西豪州日本クラブ

部会伝言板

【総務担当より】

担当理事：菊地 功

会報春季号以降の総務部門の主な活動

- 5月 5日：平成17年度第9回理事会。
- 5月21日：平成17年度第10回理事会。
- 5月26日：総務部会。
- 5月27日：支部長会。
- 5月28日：平成18年度通常総会。
- 5月31日：企画委員会。
- 6月 9日：
 - * 理事・資産変更登記。
 - * 都への事業報告・役員変更届出。
 - * 税務署への事業報告等届出。
- 6月11日：平成18年度第1回理事会。
- 6月17日：セミナー計画取進め方打合せ。

【会報部会より】

お詫び

2006年春季号会報に下記の様な誤りがありましたのでお詫びして訂正致します。

36頁の投稿者のお名前が東海支部 563番 村井巳和子とありますが松井巳和子様が正當です。

今後、この様なミスが無いよう会報部会一同心して編集作業に当たります。

会報発送作業協力の御礼

発送作業に下記の方々の協力を頂きました、御礼申し上げます。（今後、会報部会員は除く）

新年号発送作業協力者

- 434 大野悦子様 740 渡辺亜雄様
- 490 平澤佳子様 512 金子良三様
- 462 小林孝様 38 橋本比奈子、深様

春季号発送作業協力者

- 60 渡辺義郎様 80 阿部功様
- 259 菊地功様 315 鈴木剛様
- 490 平澤佳子様 696 加藤明・すみ子様
- 712 高田勝弘様 900 島林和江様



新年号発送風景

- 939 織田純一郎様 163 宮崎哲郎様
- 241 下元彬人様 732 馬場章介様
- 327 市東明義様

会報部会 部会員変更のお知らせ

総会の承認を受け下記のように変更になりました。部会長で活躍の龍野宏さん退任、市東明義さん、小林孝さん他部会へ転出。長年のご尽力に感謝申し上げます。

18年度会報部会

菊地範夫 橋本慧（新任） 村松幸子
渡辺義郎（新任） 馬場章介（新任）

皆様のご指導、ご協力を頂き、充実した会報作りに努めます。宜しくお願い致します。

寄付のお知らせ

会員番号427 小川政子様より 20,000円
ご寄付がありました。有難うございました。

理事長 宮崎 哲郎

「べからず集」

海外支部のある地域に滞在する場合の「べからず集」

平成18年6月 支部推進委員会編集

南の会会員は圧倒的に海外支部のある国、都市を訪れます。

そしてその支部長さん、並びに関係者にお世話になっております。

そのとき皆さんはその方々に大変なお世話や、ご迷惑を掛けたりしていませんか？会員数が増えるに従い問題を起こす方が多くなり、各支部より苦情が沢山きております。

自分ではその感覚はないが「無意識に」とか、「自分の常識の範囲内で」とか、全く悪気のないまま、一生懸命に奉仕をしている先輩会員の方々に不快感を与えていないでしょうか。

各支部をお世話している支部長さん自身の性格、その国の事情等により各々問題に対する捕らえ方が違ってまいりますので、訪れる方が多いチェンマイ、ペナン、ダバオ各支部からの「こんなことしないで欲しい」の“べからず”（マナー違反）を基に海外支部のある地域に滞在する場合の「べからず集」を作りました。

どうかこれを参考に海外に於いて行動しマナー違反などしないで、お互い楽しく愉快地「南国暮らし」をエンジョイしましょう。尚、本記事のオリジナルは会報の2006年新年号(VOL.31)55頁、海外支部「べからず集」です。是非こちらもご参照下さい。

(1) 訪問支部への連絡をして下さい。

支部に連絡なしの往来をしないように・・・訪問者は必ず連絡を入れてください。何かあった時に困ります。初心者だけでなくベテランの方にも連絡なしの方は多いようです。これは何処の支部でも同じです。問題発生時だけ連絡されても、それは？です。宿泊ホテル・携帯電話番号・その他の連絡先などです。但し「南の会の一員」としての立場や会を全

く利用せずに滞在するのであれば連絡しなくても構わないでしょうが、この場合は「自分は南の会会員」であるとか「支部長を知ってる」など滞在先で他人に話さないなどの分別・覚悟が必要でしょう。

(2) 旅行代理店の利用。

支部の推薦するエージェントまたは旅行者を利用するのが良いと思います。不満、トラブルが起きにくいし、解決しやすい。他の業者にも声を掛けるような二股を掛けるような事はしないことが求められます。そうしないと折角築いた支部の信用がなくなります。ひいては全会員に迷惑を掛けることになるでしょう。

(3) 視察訪問のアポイント取得とマナーの遵守。

事前にアポイントを取らずに滞在先視察のため突然現地在住の日本人宅を訪問するような事はしない様に・・・これは日本国内でそう云うことをすると非常識ですし普通はやりませんね。海外においてもされる側は大迷惑ですし常識外です。更に訪問家庭に於いては案内者が案内する所だけを見せてもらうことにして下さい。勝手に冷蔵庫を開けたり、納戸など訪問先が見せたくない所を見たりしてトラブルになり、支部長さんが支部長職を辞退されるまでに発展した事が最近ありました。

(4) 支部への依頼。

支部に何もかも（空港への送迎・観光ガイド・ホテル、コンドミニアムの手配等）を依頼するようなことはしない様にしましょう。これらをどうすればよいか事前に御相談することは良いでしょうが、支部は旅行代理店ではありませんので自分で手配実行を原則として下さい。その為に代理店をご紹介します。

(5) 会員としての行動。

日本人、「南の会会員」としてのプライドと名誉を傷つけるような行動はしないこと。「南国暮らしの会」はロングステイ地では今や有名なのです。会員は会員であることに誇りを持って行動して下さい。

(6) 必要以上に値切らないこと。

値切ることであっても良いが、現地物価が分からず、騙されたくないとの意識から必要以上に値切る方が居ますが、現地の人は皆生活のために必死に頑張っているのです。

(7) 現地のペースに合わせて下さい。

空港のチェックインカウンター・お店のレジ・レストランの会計・ホテルのチェックイン等の時、ゆっくりしていても決して怒ったり、いらいらしない様に。大体東南アジアの人は歩くことから、仕事に於いても日本人と違ってゆっくりとしたペースです。それを感じ取るようなゆとりを持って周囲を見るようにして下さい。そもそもその地を視察に訪れたということは、場合によっては、そこに生活の拠点を一部移すかもしれないということですから、「日本人である」という「変な優越感」を持たず、目線を水平にして、現地の方々々に真摯に対応するように心がけましょう。その地に居住しておられる会員の方々が長い時間をかけて築かれた「信頼感」に泥を塗るようなことは絶対に避けて下さい。

(8) 支部へのお礼。

お世話になったら、それ相応のお礼を考えましょう。よくあるのは案内するのが当然とタクシーなどの交通費を払わない方が居ます。電話などの通信費など掛かりますから、「いくら支払えばよいのか」、支部長へ遠慮なく尋ねるようにして下さい。

例えばチェンマイなどは携帯電話のプリペイドカードを買って支部長にお渡しすることになっています。

(9) 帰国したらお世話になった支部への挨拶を忘れずに。

帰国したら何も連絡挨拶のない方が多くおられます。メール等で一言「無事帰国、御礼」を簡単に良いですから挨拶して下さい。御世話した方はそれだけで嬉しいものです。

以上

編集後記

夏季号発行にあたり、原稿を提供して下さった会員の皆様にこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。

前年度までは、会報の発行に当たっては、会報担当役員それぞれ1名が責任を負い各号の記事の収集を行ってきました。当然その号を受け持った役員は期日までに記事を集めることに非常な心労と時間を費やしてきました。そこで今年度からは会報担当役員全員がすべての会報の発行に関わっていくという方針を確認してスタートしました。

記事募集の働きかけをする中で、会報を心待ちして愛読している会員は多いものの、記事を提供してくれる会員は非常に少ないのが現実であるということがわかってきました。たしかに他人に読んでもらう文章を書くという作業は、神経を使うし、得て不得手もあります。しかし会報の機能はあくまでグループ内での情報交換に有るのです。美文、名文である必要は有りません。あくまで自然体でそれぞれの個性で表現していただければよいのです。

「みんなで作る南国暮らしの会会報」という意味からも、会員みんなで会報の魅力をより高めていこうという意識を持って、もっと気軽に、積極的に寄稿してくれることを希望してやみません。

465 橋本 慧

夏季号は平成18年度総会で承認された報告事項があります。重要なものばかりですのでご一読ください。

国内各支部に1名の会報担当会員をおくことが決定しております。まだ決まっていない支部は早急に決定の上報告してください。

秋季号は10月発行予定です。原稿の締め切りは9月中旬が目安になります。

{表紙の写真提供者}

チェンマイ支部 山口 洋二 様
北海道支部長 工藤 俊一 様

「南国暮らしの会」からのお勧め

*** 自己責任 * 納得の上 * 自己決定**

南国で買い物をするときは、すぐ買わず、情報を幅広く集めて、自分の目で確かめて、しばらく試してみて納得してから、自分の責任において自己決定する。

[編集委員]

No.240	菊地 範夫	noriokikuchi@hotmail.com
No.465	橋本 慧	hashi176@ybb.ne.jp
No.281	村松 幸子	skaijmura@mtf.biglobe.ne.jp
No. 60	渡辺 義郎	yosi.watanabe@nifty.com
No.732	馬場 章介	s.baba@mbh.nifty.com

記事の無断転載・複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人（NPO法人）

「南国暮らしの会」
Cminaminokai

理事長 宮崎 哲郎

〒140-0002 東京都品川区東品川3-22-20-1208

TEL 03-3472-9916 FAX 03-3472-9954

<http://www.minaminokai.com/>

NANGOKUNANGOKUNANGOKU



NANGOKUNANGOKUNANGOKU